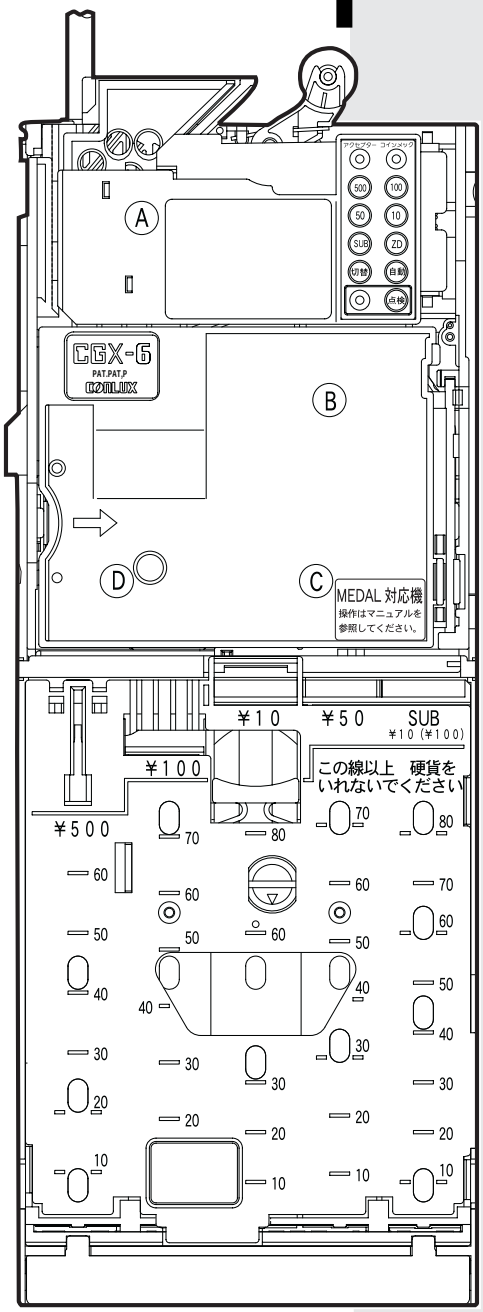
コインメック

CGX-6※,CGX-7※ シリーズ

メダル選別機能・500円/100円エスクロ機能付

取扱説明書



もくじ

① 概要 2
② 一般仕様 2
● 詳細仕様 3
③ 製品型式名の見方 9
④ 選別通路と機能 10
⑤ 各部の名称とはたらき 11
⑥ 取扱いについてのご注意 11
⑦ ご使用方法 12
7-1 取付けかた 12
7-2 各種機能設定スイッチのセット 14
7-3 つり銭硬貨のいれかた 16
7-4 簡易自動つり銭合わせ機能の使いかた ... 17
7-5 販売テスト 22
7-6 つり銭硬貨の回収のしかた 22
7-7 インベントリースイッチの使いかた 23
⑧ 簡単なお手入れ 25
⑨ モニターランプによるトラブルチェック 28
■トラブル防止のための注意事項 32
⑩ 接続端子の信号条件と配線図 33
⑪ 外形寸法図 34
⑫ その他の機能について 35
⑬ メダル使用時の注意事項について 40
⑭ メダル選別機能の使い方 41
⑮ メダル専用機として硬貨の受入禁止設定 50

CONLUX®

1 概　要

CGXシリーズは硬貨選別部に全ての制御機能部を集約したコストパフォーマンスに優れた新開発のコインメックです。また、各部品の構成をさらにユニット化し、お手入れや万一のトラブルに対して工具なしを実現したメンテナンスの容易なコインメックです。

本機CGX-6※/CGX-7※シリーズは、コインメック側の所定の操作のみで、メダル選別のための調整を行い、特定メダルの受け入れを可能にする自己調整機能をもったコインメックです。(40ページ参照)

メダル専用データコマンド通信にも対応しており、既存の自動販売機でもメダルコマンド対応自動販売機でも動作します。

使用硬貨に対して、不正行為を検知し一時的に硬貨の受け入れを制御する抑止機能、及び選別精度を切り替えるスイッチにより不正に対応した各種機能を取り入れています。

主制御とのデータ交信にシリアル通信を採用し、従来の自動販売機(シリアル通信)にそのまま使用できます。

使用硬貨は10円、50円、100円、500円の４金種、着脱可能なつり銭カセットチューブを採用し、つり銭の払出しは最大３金種の同時払出し機能を備えています。更に、主制御部との通信により自動／簡易自動つり銭合わせ機能の選択が可能(CGX-7※シリーズ)となっており、簡易自動つり銭合わせ機能(対象)は主制御側での枚数設定作業を不要とした簡易的な、つり銭の増減管理を可能としております。硬貨の回収には2モードのつり銭合わせ機能が選択可能となっており、市場に合わせたつり銭の回収方法の切り替えが容易にでき、広汎な自動販売機への搭載が可能です。

さらに投入された500円/100円硬貨を一時的に保留する機構を設け、返却動作が行われた時、現物で返却する現物エスクロ機能を備えています。また、500円/100円硬貨を保留した以降も、他金種の硬貨を受け入れることが可能となっています。

500円１枚検知機能付きの機種を選択しますと500円硬貨１枚のつり銭検知が可能となります。それにより500円硬貨のつり銭補充枚数削減や、最後の一枚までつり銭として有効活用ができ、簡易自動つり銭合わせ機能のチューブ残量方式においては１枚からの設定が可能となります。

2 一般仕様 仕様及びデザインは改良のため予告なく変更することがあります。

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th colspan="5">CGX-6※/CGX-7※シリーズ</th></tr>
<tr><td colspan="2">最大投入金額</td><td colspan="5">3ページの表を参照してください</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用硬貨</td><td colspan="5">新旧500円貨、100円貨、50円貨、10円貨</td></tr>
<tr><td colspan="2">つり銭硬貨</td><td colspan="5">500円貨、100円貨、50円貨、10円貨</td></tr>
<tr><td rowspan="3">つり銭有効枚数</td><td rowspan="2">チューブ名称</td><td colspan="4">自動補給筒(手動での補給も可能)</td><td>手動補給筒</td></tr>
<tr><td colspan="5">カセットチューブ</td></tr>
<tr><td>500円</td><td>100円</td><td>10円</td><td>50円</td><td>サブ（SUBチューブ）</td></tr>
<tr><td>約70枚 (70枚設定)※1
約8枚 (8枚設定)※1</td><td>約80枚</td><td>約92枚</td><td>約85枚</td><td>10円→約100枚
または
100円→約87枚</td></tr>
<tr><td colspan="2">つり銭払出し</td><td colspan="5">ＤＣモータ、ＤＣソレノイド併用（全チューブ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源</td><td colspan="5">ＤＣ24Ｖ±10%、ＤＣ8Ｖ±5%</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用温度範囲</td><td colspan="5">－15℃～＋60℃</td></tr>
<tr><td colspan="2">定格消費電流</td><td colspan="5">待機時：24Ｖ→0.1Ａ、8Ｖ→0.1Ａ　動作時※2：0.95Ａ、0.1Ａ
ピーク時※3：1.5Ａ、0.1Ａ
本製品の、24V回路にはDC 2Aのヒューズを装備しております。このヒューズの溶断電流は4A以上必要となりますので溶断電流以上の電源供給をお願いします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ヒューズ内蔵</td><td colspan="5">ＤＣ24Ｖ: 2Ａ</td></tr>
<tr><td colspan="2">重量</td><td colspan="5">約 1.7 kg</td></tr>
<tr><td colspan="2">機能</td><td colspan="5">500円／100円エスクロ機能、つり銭検知機能(全チューブ)、故障検知機能(モニターランプ)、インベントリー機能、カセット脱着検知機能、つり銭補助機制御機能、つり銭同時払出し機能、自動つり銭合わせ機能※4,※5、簡易自動つり銭合わせ機能、硬貨選別精度切換え機能、追加払い出し機能、駆動用電源制御機能、金種別受け入れ禁止設定機能、インベントリー禁止制御機能※5、抑止機能、500円１枚検知機能、メダル選別自己調整機能(41ページ参照)</td></tr>
<tr><td colspan="2">オプション</td><td colspan="5">つり銭補助機：ＺＤ－160シリーズ（３台まで取付可能）</td></tr>
</table>

※1：500円保留枚数の設定条件　※2：硬貨選別、モータ動作時など　※3：ピーク時は最大５秒
※4：CGX-7※シリーズのみ適用　※5：一部機能は主制御も同機能がある場合のみ

※最大投入金額

最大投入金額	100円エスクロ設定	500円エスクロ設定	500円保留枚数SW設定状態
6,300円			8枚設定 （8連スイッチ5番 下設定）
3,700円	○		
5,800円		○	
3,200円	○	○	
13,800円			70枚設定 （8連スイッチ5番 上設定）
11,200円	○		
5,800円		○	
3,200円	○	○	

但し、メダル設定を行った場合は、上記の通りではありません。

● 詳細仕様

（1）硬貨の受入禁止

下記のような場合、主制御部からの禁止信号の有無に関係なく硬貨の受入れが禁止され投入硬貨は全て返却します。

① 電源遮断時（停電時）。
② 販売動作時、返金動作時、通信異常時、硬貨選別機異常時、コインメック本体異常時、電源投入時（約３秒）。
③ カセットチューブが正常に取付けられていないとき。
④ 主制御からのSYN信号が１秒以内に１回送信されない場合に、SYN信号が送信されるまでの期間。
⑤ 金種別受け入れ禁止設定機能が設定されている場合、当該硬貨の受け入れを禁止します。
⑥ 500円・100円エスクロ機能が設定されている場合、500円硬貨の入金は３枚まで、100円硬貨の入金は４枚までになります。　尚、500円硬貨が３枚、100円硬貨が4枚投入後も、他の金種は各同一硬貨投入枚数まで受け入れ可能です。
⑦ 硬貨の受入れ額が下表に示す最大投入金額に達したとき全ての硬貨の受れ入れを禁止します。また、同一硬貨の連続投入枚数に達したときは当該硬貨のみ受入れを禁止します。

500円保留枚数設定	エスクロ設定		最大投入金額	同一硬貨投入枚数			
	100円	500円		10円	50円	100円	500円
70枚設定（8連スイッチ5番：上設定）			13,800円	40枚	18枚	30枚	19枚
	○		11,200円	40枚	18枚	4枚	19枚
		○	5,800円	40枚	18枚	30枚	3枚
	○	○	3,200円	40枚	18枚	4枚	3枚
8枚設定（8連スイッチ5番：下設定）			6,300円	40枚	18枚	30枚	4枚
	○		3,700円	40枚	18枚	4枚	4枚
		○	5,800円	40枚	18枚	30枚	3枚
	○	○	3,200円	40枚	18枚	4枚	3枚

⑧ 簡易／自動つり銭合わせ機能のチューブ残量方式を装備している機種では、つり銭合わせ設定枚数が上表の同一硬貨投入枚数以下に設定された場合、その設定枚数に投入硬貨枚数が達した時点で当該硬貨の受入れを禁止します。

（2）自動補給筒満杯検知機能

自動補給筒には各チューブ毎に満杯を検知するスイッチがあり、満杯を検知するとその後の該当する投入硬貨は硬貨選別部で金庫側に導かれます。

●500円満杯検知

500円チューブに関しては保留枚数を８枚に設定した時は、チューブ裏側の近接スイッチにて満杯を検知し、70枚に設定した時は、チューブ上部の満杯検知用レバーと連動した満杯検知スイッチにより満杯を検知し、投入された500円貨は金庫側へ導かれます。

●100円・50円・10円満杯検知

各チューブ上部の満杯検知用レバーと連動した満杯検知スイッチにより満杯を検知し、投入された各硬貨は金庫側へ導かれます。

(3) インベントリーパネル

つり銭チューブ内の硬貨を回収するためのスイッチ6個と自動つり銭合わせ動作用(自動表示)スイッチ1個、点検用(点検表示)スイッチ1個、各種機能切替設定用(切替表示)スイッチ1個及びモニターランプ3個から構成されております。

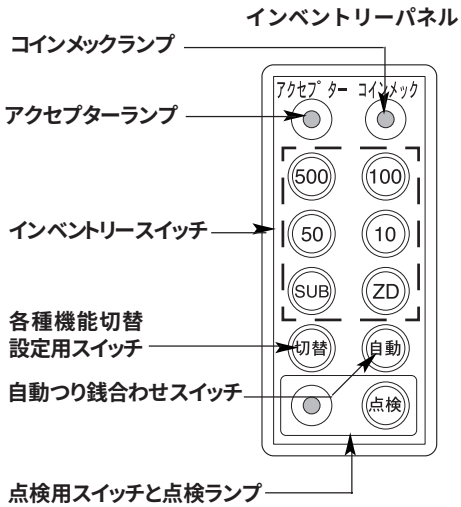
インベントリー動作の開始、停止に使用するスイッチは、“ 500 ”、“ 100 ”、“ 50 ”、“ 10 ”、“ SUB ”、“ ZD ”表示のスイッチです。(詳細は23ページ参照)

インベントリー動作時は各チューブの払い出し動作前に、下記の内容にて500円及び100円エスクロ部のレバーが動作します。

① 500円･100円インベントリースイッチ操作時は､エスクロ設定の有無に関係無く､初めに１回､エスクロ部の金庫導入動作を行います。

② 500円･100円以外(50円･10円･SUB･ZD)のインベントリースイッチ操作時は､エスクロ設定の有無に関係無く､エスクロ部の動作は行いません｡(以下の③を除く)

③ エスクロ設定がされ､500円もしくは100円又はその両方がエスクロしている状態では､全てのインベントリースイッチ操作時に､500円･100円がエスクロしている枚数分､その硬貨をチューブまたは､金庫導入動作を行います。



(4) エスクロ機能

① 100円エスクロ機能（8連スイッチの3番）

100円硬貨の返却動作が行われた場合に、投入された100円硬貨の現物を返却する機能です。

本機能が設定されますと、投入された100円硬貨を硬貨選別機内に一時的に保留します。

尚、100円硬貨の一時保留は最大で４枚まで可能です。

以降、返却動作もしくは販売動作が行われますと、一時保留された100円硬貨は下記の条件により、各導入先へ振り分けられます。

100円を返金する場合 ..... 一時保留した100円硬貨の現物を返却口へ戻します。

100円を収金する場合 ..... 一時保留した100円硬貨をチューブ内、もしくは金庫側へ導入します。

100円エスクロ機能が設定されていない状態におきましても3枚までは一時保留し4枚目以降、100円硬貨が１枚投入されるごとに１枚チューブ内または金庫側へ導入します。以降、連続投入制限まで１枚投入されるごとに１枚をチューブまたは金庫側へ導入します。

払い出しの際は、エスクロ位置にある100円硬貨を先に払い出します。

② 500円エスクロ機能（8連スイッチの4番）

500円硬貨の返却動作が行われた場合に、投入された500円硬貨の現物を返却する機能です。

本機能が設定されますと、投入された500円硬貨を硬貨選別機内に一時的に保留します。

尚、500円硬貨の一時保留は最大で３枚まで可能です。

以降、返却動作もしくは販売動作が行われますと、一時保留された500円硬貨は下記の条件により、各導入先へ振り分けられます。

500円を返金する場合 ..... 一時保留した500円硬貨の現物を返却口へ戻します。

500円を収金する場合 ..... 一時保留した500円硬貨をチューブ内、もしくは金庫側へ導入します。

●その他、以下の条件にて500円、100円エスクロ部のレバーが動作します。

(1) 電源投入時：無条件に、100円4回・500円3回の金庫導入初期動作を交互に行います。

(2) スタンバイコマンド受信時：エスクロ設定がされ、100円・500円がエスクロされている場合は、それぞれがエスクロしている枚数分、チューブまたは金庫導入動作を行います。

(3) 100円、500円インベントリー動作時：エスクロ設定の有無に関係無く、初め１回該当金種の金庫導入動作を行います。

(5) 同時払出し機能

コインメック単独またはつり銭補助機(ZD-160シリーズ)取付時のいずれの場合も最大３金種までの同時払出しが可能で、払出し硬貨の組合せは、つり銭金額やつり銭情報により自動選択となります。

① コインメック単独の場合は、50円チューブとサブチューブの同時を除く、他のチューブでの組合せにて最大３金種となります。

② つり銭補助機取付時は、いずれかのつり銭補助機１金種と、コインメック側２金種までの組合せにて最大３金種となります。

（6）自動つり銭合わせ機能（但し、サブチューブは除く）（CGX-7※シリーズのみ）

主制御のあらかじめ設定されたつり銭枚数に基づき、コインメック内のつり銭枚数を制御する機能です。
主制御からの指令により本機能の使用を選択することができます。

注）主制御からの指令により自動つり銭合わせ機能が選択されていない場合は、簡易自動つり銭合わせ機能として動作します。

制御方式として以下の２モードから自動つり銭合わせモード切り替え用８連スイッチの１番による選択が可能となっています。（この機能は主制御に同種の機能が装備されておりませんと働きません。）

① チューブイン方式（８連スイッチ１番をOFF側にノブ設定）
主制御のあらかじめ設定されたつり銭枚数に合わせるべく、硬貨回収時に増加している自動補給チューブの硬貨を払出す方式で、投入硬貨はつり銭チューブが満杯となるまでつり銭チューブに保留されます。

② チューブ残量方式（８連スイッチ１番をON側にノブ設定）
主制御のあらかじめ設定されたつり銭枚数につり銭チューブの硬貨保有枚数が達した場合、以降の投入硬貨を金庫側に導く方式です。

対象チューブは10円、50円、100円、500円の自動補給チューブです。

(6)-1 自動つり銭合わせスイッチ機能

スイッチを押すことにより自動つり銭合わせ機能のつり銭増加分の払出し動作を行います。
（この機能は主制御に同種の機能が装備されておりませんと働きません。）

（7）簡易自動つり銭合わせ機能（但し、サブチューブは除く）（詳細は17ページ参照）

本機能は主制御側との特定の交信を不要としコインメック側のみでつり銭の増減管理を可能とする、簡易的な自動つり銭合わせ機能で、以下の２モードからつり銭合わせモード切り替え用８連スイッチの１番によりチューブイン方式、またはチューブ残量方式に選択が可能となっています。

① チューブイン方式（８連スイッチ１番をOFF側にノブ設定）
本方式は、カセット脱着時に設定されたつり銭枚数に合わせるべく、硬貨回収時に増加している自動補給チューブの硬貨を払い出す方式であり、投入された硬貨は、つり銭チューブが満杯になるまで保留されます。

② チューブ残量方式（８連スイッチ１番をON側にノブ設定）
本方式は、カセット脱着時に設定されたつり銭枚数に、つり銭チューブの硬貨保有枚数が達した場合、以降の投入硬貨を金庫側に導く方式です。　但し、設定枚数以上であっても金種とつり銭情報によってはつり銭を確保する為、チューブへ保留する場合があります。

対象チューブは10円、50円、100円、500円の自動補給チューブです。

(7)-1 簡易自動つり銭合わせスイッチ機能

インベントリースイッチパネルの“自動”スイッチを押すことにより簡易自動つり銭合わせ機能のつり銭増加分の払出し動作を行い、不足硬貨の投入待ちとなります。

（8）金種別受け入れ禁止設定／回収（旧500円硬貨対象）機能

コインメック側が単独で、任意の金種を受け入れ禁止に設定し、また旧500円硬貨回収の機能です。
この設定方法は35ページ以降の内容を参照してください。　また、硬貨選別精度切り替えと併用する場合は、当機能を先に設定した後に精度アップを行ってください。

（9）インベントリー禁止制御機能

①主制御によるインベントリー禁止設定
通常のインベントリー動作の機能停止を、主制御側の指令により許可／禁止を制御する機能です。
主制御側から禁止指令が出されている間は、故障などと区別するためインベントリーを操作した時に、モニターランプ（コインメックランプ：黄）を約１秒間点滅します。
（主制御側に同種の機能が装備されておりませんと働きません。）

②コインメックの操作によるインベントリー禁止設定
主制御によるインベントリー動作の禁止とは別に、コインメックの操作によりインベントリー動作の許可／禁止設定をする機能です。（詳細は24ページ参照）

(10) つり銭情報

コインメック内のつり銭情報は、“ 金種別つり銭払出し可能枚数データ ”にて主制御に送信されます。

“ 金種別つり銭払出し可能枚数データ ”はつり銭チューブに設けられた近接式エンプティスイッチの状態と、近接式500円1枚検知センサ、硬貨の記憶枚数（エンプティ枚数カウンター）から決定されます。

（1）近接式エンプティスイッチ

各つり銭チューブの下段に設けらている近接式スイッチです。これによりつり銭が定量以上ある場合は、“ つり銭あり ”、定量以上ない場合は“ つり銭なし ”の検知を行います。

（2）エンプティ枚数カウンター

投入された硬貨と払い出された硬貨の枚数を記憶するソフトカウンターです。つり銭が定量以上なくなり近接式エンプティスイッチが“ つり銭なし ”を検知した後も、払い出しが行われるたびに1枚づつ減算し、払い出し終了後もその時点の枚数を保持します。従いまして、定量以下となったつり銭も有効に活用することが可能です。

（3）近接式500円1枚検知センサ

コインメック下部に設けらています近接式500円1枚検知センサは、10円、50円、100円（500円を除く）硬貨の払い出し動作において、500円チューブ内にある500円硬貨1枚の“ あり ”、“ なし ”を検出するセンサーです。

500円硬貨が定量以上なく、近接式エンプティスイッチにて検出できない場合におきましても500円硬貨1枚の“ あり ”、“ なし ”検知を行います。

情報 ＼ 硬貨	つり銭払出し情報要素	
	エンプティスイッチの状態	**投入された硬貨の記憶枚数**
10円	**①　手動補給筒が100円設定の場合** ● 10円自動補給筒に 定量以下の場合は“ 0 ” 定量以上の場合は“ 10 ” を枚数データとして主制御に送信します。 **②　手動補給筒が10円設定の場合** ● 10円自動補給筒と手動補給筒に 共に定量以下の場合は“ 0 ” いずれか定量以上の場合は“ 10 ” いずれも定量以上の場合は“ 20 ” を枚数データとして主制御に送信します。	**①　エンプティスイッチがつり銭あり状態の場合（つり銭払出し可能枚数　初期値＝10枚）** ● 硬貨が投入される毎にその枚数が初期値10枚に加算され送信します。 ● つり銭として払出した場合は、初期値10枚まで払出し枚数を減算され送信します。 **②　エンプティスイッチがつり銭なし状態の場合（つり銭払出し可能枚数　初期値＝０枚）** ● 硬貨が投入される毎にその枚数が送信されます。 ● 投入硬貨により投入された硬貨の記憶枚数が９枚以下の状態でエンプティスイッチがつり銭あり状態となった場合はその時点から上記①の状態となります。 ● 投入硬貨によるつり銭あり状態とならないで販売が行われた場合は、保留枚数であるエンプティ枚数カウンタをつり銭払い出し可能枚数として主制御に送信します。また、払い出しによりつり銭なしとなった場合は、そこから“ 0 ”まで払い出し毎に１枚づつ減算し、その枚数を主制御に送信します。
50円	● 50円自動補給筒に 定量以下の場合は“ 0 ” 定量以上の場合は“ 10 ” を枚数データとして主制御に送信します。	↑
100円	**①　手動補給筒が10円設定の場合** ● 100円自動補給筒に 定量以下の場合は“ 0 ” 定量以上の場合は“ 10 ” を枚数データとして主制御に送信します。 **②　手動補給筒が100円設定の場合** ● 100円自動補給筒と手動補給筒に 共に定量以下の場合は“ 0 ” いずれか定量以上の場合は“ 10 ” いずれも定量以上の場合は“ 20 ” を枚数データとして主制御に送信します。	↑

500円	● 500円自動補給筒に 定量以下の場合は“ 0 ” 定量以上の場合は“ 4 ” を枚数データとして主制御に送信します。	**① エンプティスイッチがつり銭あり状態の場合（つり銭払出し可能枚数　初期値＝4枚）** ● 硬貨が投入される毎にその枚数が初期値4枚に加算され送信します。 ● つり銭として払出した場合は、初期値4枚まで払出し枚数を減算され送信します。 **② エンプティスイッチがつり銭なし状態の場合（つり銭払出し可能枚数　初期値＝０枚）** ● 硬貨が投入される毎にその枚数が送信されます。 ● 投入硬貨により投入された硬貨の記憶枚数が３枚以下の状態でエンプティスイッチがつり銭あり状態となった場合はその時点から上記①の状態となります。 ● 投入硬貨によるつり銭あり状態とならないで販売が行われた場合は、保留枚数であるエンプティ枚数カウンタをつり銭払い出し可能枚数として主制御に送信します。
		近接式500円１枚検知センサ **① エンプティスイッチがつり銭あり状態の場合（つり銭払出し可能枚数　初期値＝4枚）** 近接式エンプティスイッチ及びエンプティ枚数カウンターの内容で主制御に送信されます。 **② エンプティスイッチがつり銭なし状態の場合（つり銭払出し可能枚数　初期値＝0枚）** 近接式500円１枚検知センサが“ なし ”を検出しますと500円つり銭払い出し可能枚数データは“ 0 ”で主制御に送信され“ あり ”を検出しますと“ 1 ”で主制御に送信されます。

【注】投入された硬貨の記憶枚数は、電源遮断又はカセットチューブを外すと“ 0 ”にクリアされます。

★ つり銭払出し可能枚数の最大値

各硬貨のつり銭払出し可能枚数の最大値は以下の通りです。

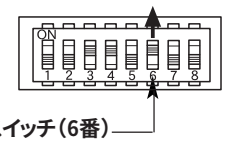
硬　貨	10円	50円	100円	500円	
最大枚数	45枚	20枚	45枚	500円保留枚数設定	
				70枚設定：20枚	8枚設定：４枚

(11) 同一金種返金機能

投入された硬貨総金額と同金額が主制御から返金データとして送信された場合、すべて投入金種にて返却します。

(12) 旧500円硬貨受入禁止の設定機能

“ 旧500円受入禁止スイッチ ”（8連スイッチの6番）を“ ON ”側に設定することにより、旧500円硬貨の受入を禁止します。



旧500円受入禁止スイッチ（6番）

(13) 抑止機能

硬貨選別機部の背面に設けられている抑止モード設定スイッチ（8連スイッチの2番）をONにすることによって、「抑止モード」の設定が出来ます。（詳細は14ページ参照）

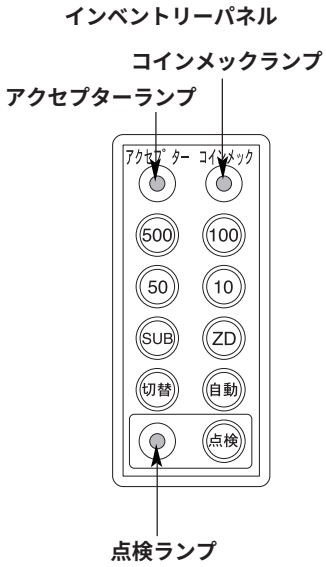
(14) 追加払い出し機能

つり銭の払い出し動作終了後、商品詰まりなどの理由によりつり銭が追加となった時に、主制御側からのCREM OFF指令により追加分を続けて払い出すことができます。

(15) 故障検知機能

コインメックにおいて故障と判断した場合、主制御に対してその異常内容を知らせると同時にインベントリーパネルに位置しますモニターランプが点滅します。

モニターランプは、硬貨選別部の状態（アクセプターランプ：赤）と硬貨払出し部の状態（コインメックランプ：黄）及び点検時期（点検ランプ：緑）を表す３個のランプにより構成され、故障箇所により何れかのランプが点滅します。



	ｱｸｾﾌﾟﾀｰﾗﾝﾌﾟ	ｺｲﾝﾒｯｸﾗﾝﾌﾟ	点検ﾗﾝﾌﾟ ※1
故障のない場合	点灯 ○	点灯 ○	消灯 ●
硬貨選別部の故障	点滅 ☼	点灯 ○	消灯 ●
硬貨払い出し部の故障	点灯 ○	点滅 ☼	消灯 ●
コインメック側の払出可能枚数以上の払出指令が主制御より送信された場合	☼ 交互点滅 ☼		消灯 ●
受入率が低下した場合（80%未満）	点滅 ☼	点灯 ○	点灯 ○
払い出しモーターロック　※２	点灯 ○	点滅 ☼	点灯 ○

※１この点検ランプの表示は、主制御側が拡張コマンドに対応していない時の表示です。
対応している場合は、点検ランプの制御は主制御側にあるので主制御の仕様を確認してください。尚、アクセプターランプ・コインメックランプの表示に違いはありません。

※２インベントリーSW操作によるモーターロックでは、点検ランプは点灯しません。

【注記】

点検スイッチにより点検ランプを消灯させるには、他に異常がない時に行ってください。
他に異常があるときに点検スイッチを押すと点検ランプは点滅し、消灯はしません。
その場合は他の異常を先に解消してから操作を行ってください。
主制御側が拡張コマンドに未対応で点検ランプが点灯している場合、点検スイッチを１秒以上押すことにより下記の初期化を行います。

- **受け入れ率　　：全金種の受け入れ率を初期値の100%に戻します。**
- **モータロック発生記憶　：モータロックの発生記憶をクリアします。**

(16) 払い出し動作途中停止（モーターロック）時の自動復帰機能（インベントリー操作時）

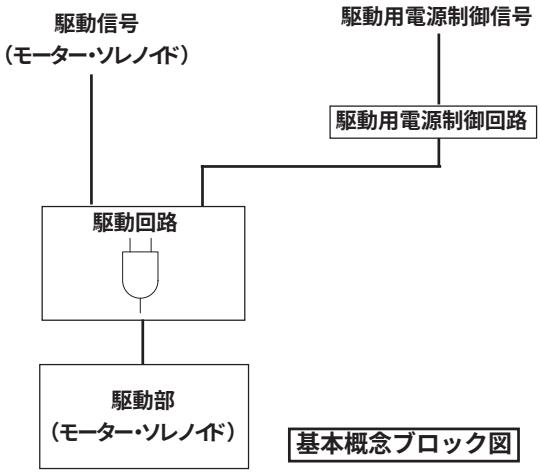
払い出し動作中にモーターロックを検出した場合は、一度逆転動作を行い、再度正転動作により払い出しを継続します。

それでもモーターロックにより払い出しが停止し、払い出し異常となった場合はインベントリースイッチ（￥500、￥100、￥50、￥10、SUBの何れか）を押すことにより払い出し動作を行い、正転動作が不可と判断された場合は、自動的に逆転動作に移り、払い出し機構を逆転方向から待機位置にもどします。　従いまして、払い出し中モーターロックなどが発生した場合に於いてもカセットチューブの脱着が可能となり、停止要因の解消を容易に行うことができます。

(17) 駆動用電源制御機能

硬貨の選別、及び払い出しに使用するモーター・ソレノイドなどの駆動回路と、その駆動回路への電源供給を制御する別回路を新規に設け、１つの駆動部を２値化された信号により制御するものです。

非動作時は、駆動部への電源が遮断されている為外来ノイズなどによる駆動部の誤動作を防止することができます。



基本概念ブロック図

3 製品型式の見方

① コインメック本体機種名

ＣＧＸ－６□□－□□□

ＣＧＸ－７□□－□□□

- オプション区分４　（表－IV）
- オプション区分３　（表－III）
- オプション区分２　（表－II）
- 予備欄
- オプション区分１　（表－I）
- 機能区分６：簡易自動つり銭合わせ(イン･残量)機能
- 機能区分７：自動つり銭合わせ(イン･残量)機能　または、簡易自動つり銭合わせ(イン･残量)機能を選択可能

② 硬貨選別部機種名

ＣＧＸＡ－６

ＣＧＸＡ－７

- 機能区分６：簡易自動つり銭合わせ(イン･残量)機能
- 機能区分７：自動つり銭合わせ(イン･残量)機能　または、簡易自動つり銭合わせ(イン･残量)機能を選択可能

表－I（**オプション区分１**）

記　号	オプション区分１
0	無し
1	500円１枚検知機能付き

表－II（**オプション区分２**）

記　号	オプション区分２
A	ラッチストッパータイプ（標準）
B	鍵付きタイプ

表－III（**オプション区分３**）

取付台数 ＼ 記　号		無記入	1	2	3	4	5	6	7	8	9	X	Y
ZD直付け時	ZD-160-A	0	1	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0
	ZD-160	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0
	ZD-160-50-A	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0
	ZD-160-50	0	0	0	0	0	1	2	1	1	2	0	0
ZD外付け時	NC-033	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ZD接続基板		0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

【注１】　ZDを取り付けない場合は無記入。また無記入の場合、出荷後にZDは取り付きません。

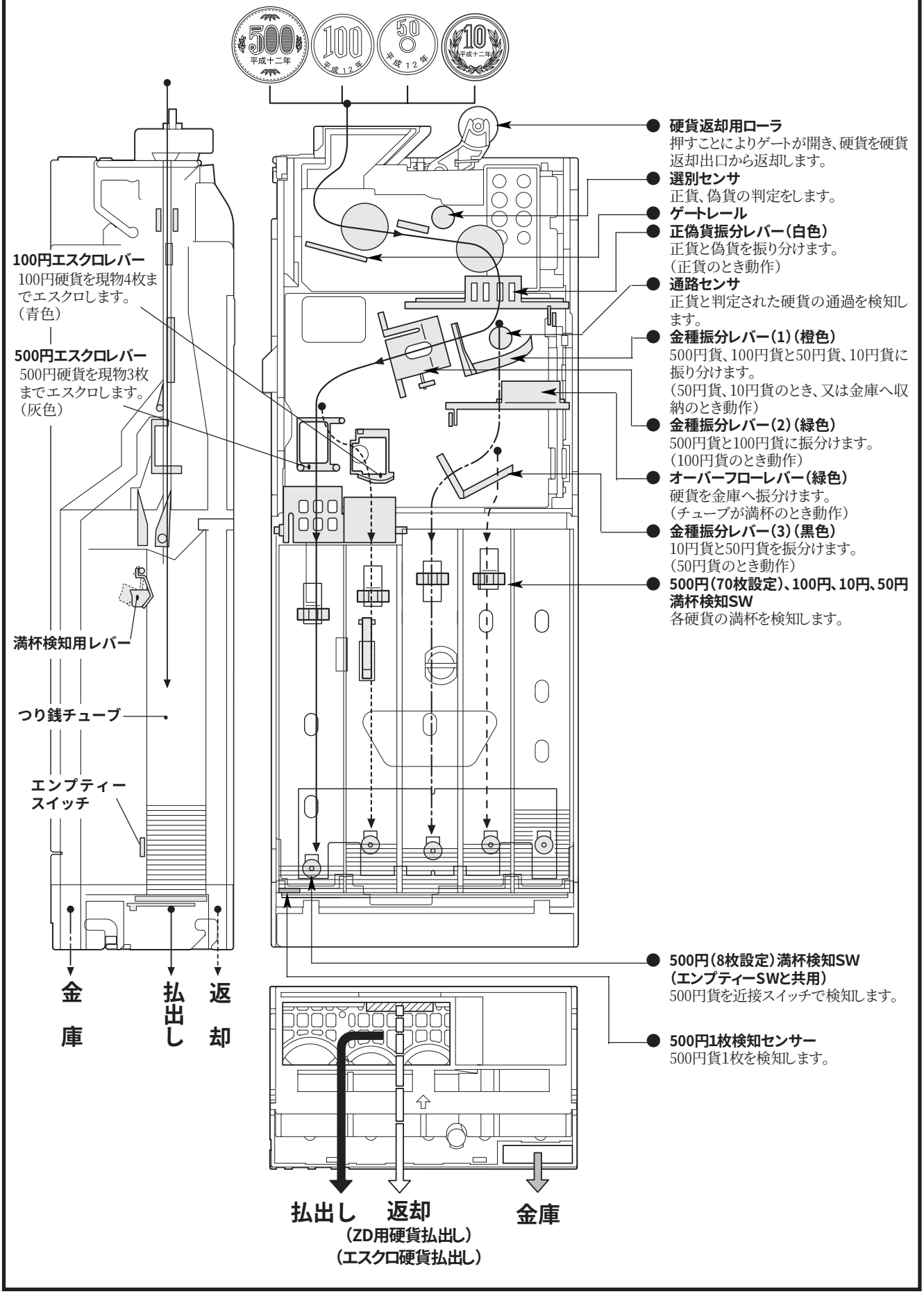
【注２】　“ X ”は出荷時にZDは取り付いていませんが、出荷後に取り付ける事が可能です。

【注３】　ZD外付け時は、NC-033のみ取り付けを指定し、３台までの構成はZD側の別途注文となります。

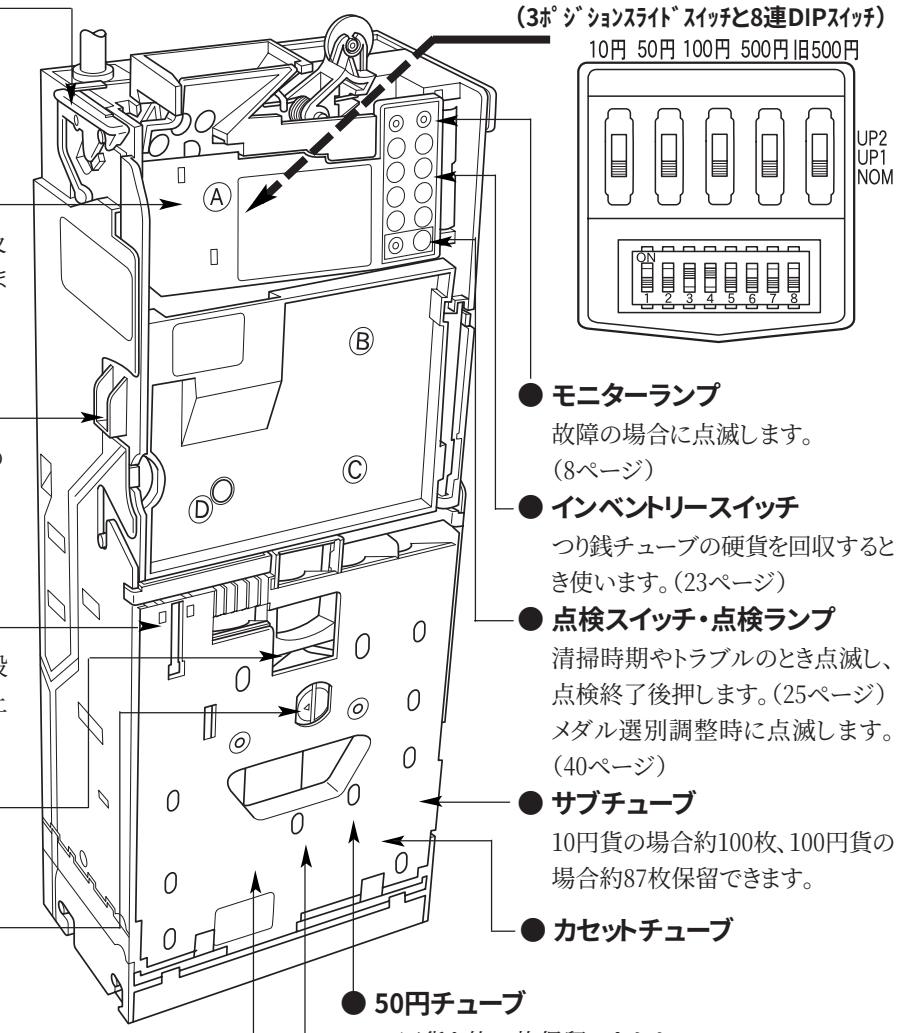
表－IV（**オプション区分４**）

記　号	オプション区分４
無記入	無し
R	スラグプロテクター付き

4 選別通路と機能


硬貨返却用ローラ
押すことによりゲートが開き、硬貨を硬貨返却出口から返却します。
選別センサ
正貨、偽貨の判定をします。
ゲートレール
正偽貨振分レバー（白色）
正貨と偽貨を振り分けます。
（正貨のとき動作）
通路センサ
正貨と判定された硬貨の通過を検知します。
金種振分レバー（1）（橙色）
500円貨、100円貨と50円貨、10円貨に振り分けます。
（50円貨、10円貨のとき、又は金庫へ収納のとき動作）
金種振分レバー（2）（緑色）
500円貨と100円貨に振分けます。
（100円貨のとき動作）
オーバーフローレバー（緑色）
硬貨を金庫へ振分けます。
（チューブが満杯のとき動作）
金種振分レバー（3）（黒色）
10円貨と50円貨を振分けます。
（50円貨のとき動作）
500円（70枚設定）、100円、10円、50円満杯検知SW
各硬貨の満杯を検知します。
100円エスクロレバー
100円硬貨を現物4枚までエスクロします。
（青色）
500円エスクロレバー
500円硬貨を現物3枚までエスクロします。
（灰色）
満杯検知用レバー
つり銭チューブ
エンプティースイッチ
金庫
払出し
返却
500円（8枚設定）満杯検知SW
（エンプティーSWと共用）
500円貨を近接スイッチで検知します。
500円1枚検知センサー
500円貨1枚を検知します。
払出し
返却
金庫
（ZD用硬貨払出し）
（エスクロ硬貨払出し）

5 各部の名称とはたらき



● **アクセプターラッチ**
硬貨選別部を外す時押し上げます。
（12ページ）

● **硬貨選別部**
500円貨、100円貨、50円貨、10円貨及びメダル選別調整後のメダル2種類までを選別する電子選別部です。

● **スラグ出口**
いたずらなどで流し込まれた液物の流し出口です。

● **500円チューブ**
500円貨を約8枚（8連スイッチ5番下設定）、または約70枚（8連スイッチ5番上設定）保留できます。

● **カセットラッチ**
カセットチューブを外すとき使います。
（16ページ）

● **ラッチストッパー**
カセットラッチをロックすることが出来ます。（鍵付きタイプもあります）
（16ページ）

● **モニターランプ**
故障の場合に点滅します。
（8ページ）

● **インベントリースイッチ**
つり銭チューブの硬貨を回収するとき使います。（23ページ）

● **点検スイッチ・点検ランプ**
清掃時期やトラブルのとき点滅し、点検終了後押します。（25ページ）
メダル選別調整時に点滅します。
（40ページ）

● **サブチューブ**
10円貨の場合約100枚、100円貨の場合約87枚保留できます。

● **カセットチューブ**

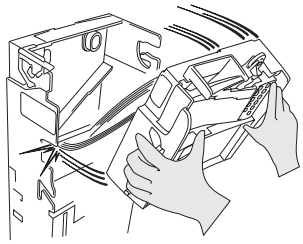
● **50円チューブ**
50円貨を約85枚保留できます。

● **100円チューブ**
100円貨を約80枚保留できます。

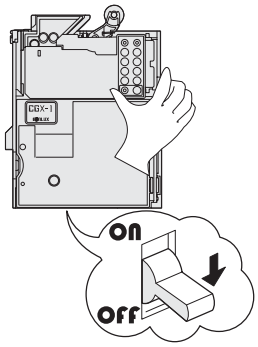
● **10円チューブ**
10円貨を約92枚保留できます。

6 取扱いについてのご注意

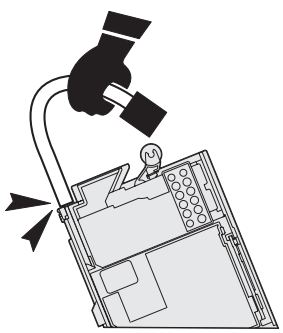
● 硬貨選別部は専用のコネクタで接続されています。むやみに外さないでください。



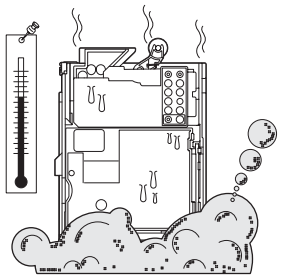
● 硬貨選別部のコネクタを取外す場合は、**必ず電源を切って**から行ってください。



● コインメックを持ち運ぶ場合、ハーネスのみを持つことはしないでください。



● コインメックを管理するときは、高温、高湿、ほこりの多いところなどに放置しないでください。



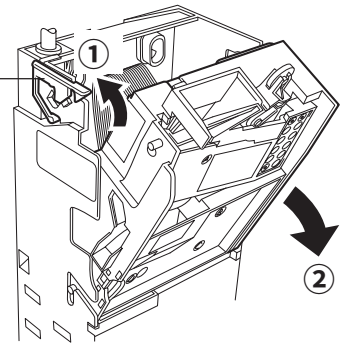
7 ご使用方法

手　順

1. コインメックを販売機に取付けてください。..... P12
2. 各種機能設定スイッチ（3ポジションスライドスイッチ・8連DIPスイッチ）をセットしてください。..... P13
（硬貨選別精度切り替え・金種別受け入れ禁止設定・抑止機能・100円/500円エスクロ設定・500円保留枚数・旧500円硬貨受入禁止設定・サブチューブ金種設定及びつり銭合わせモード切り替え設定）
3. つり銭硬貨を入れてください。..... P16
4. 簡易自動つり銭合わせ機能の使いかた。..... P17
5. 販売テストをしてください。..... P22
6. つり銭硬貨の回収のしかた。..... P22
7. インベントリースイッチの使いかた。..... P23

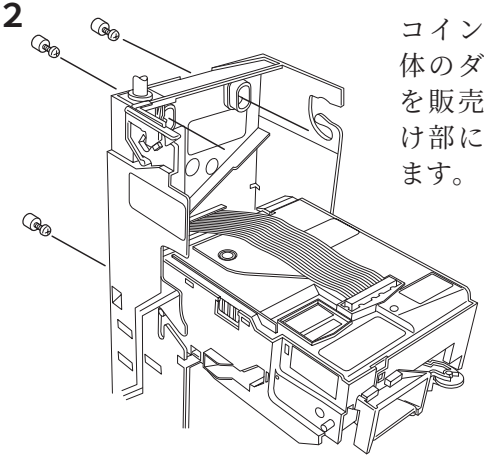
7－1　取付けかた

1



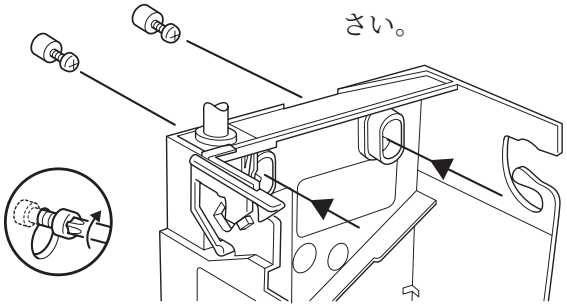
アクセプターラッチを押し上げ、硬貨選別部を手前に倒してください。

2



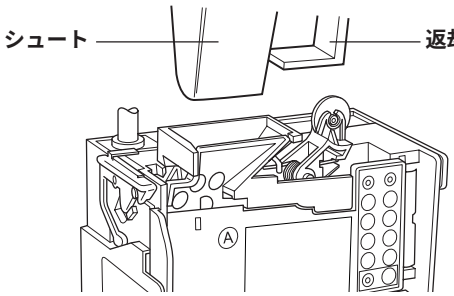
コインメック本体のダルマ型穴を販売機の取付け部にはめ込みます。

3



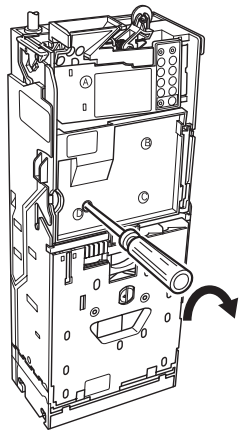
3ヶ所の取付ビスのうち上部の2ヶ所のビスを締付けてください。

4



販売機の返却レバーとシュートに注意しながら硬貨選別部をセットしてください。

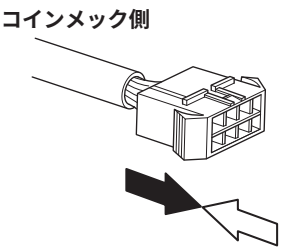
5



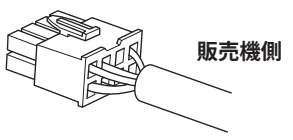
セットが出来ましたら、最後に下部左側のビスを硬貨選別部の穴からドライバーを通して締め付けてください。

6

①販売機の電源スイッチが**“切れ”**ていることを確認してください。



② 8Pのコネクタを販売機のコネクタ受けに接続してください。



③オプションがある場合はオプションコネクタを接続してください。

7−2　各種機能設定スイッチのセットのしかた

硬貨選別部を手前に倒しますと裏側に３ポジションスライドスイッチと８連のディップスイッチがあります。

●硬貨選別精度切り替え（金種別受け入れ禁止設定）スイッチ

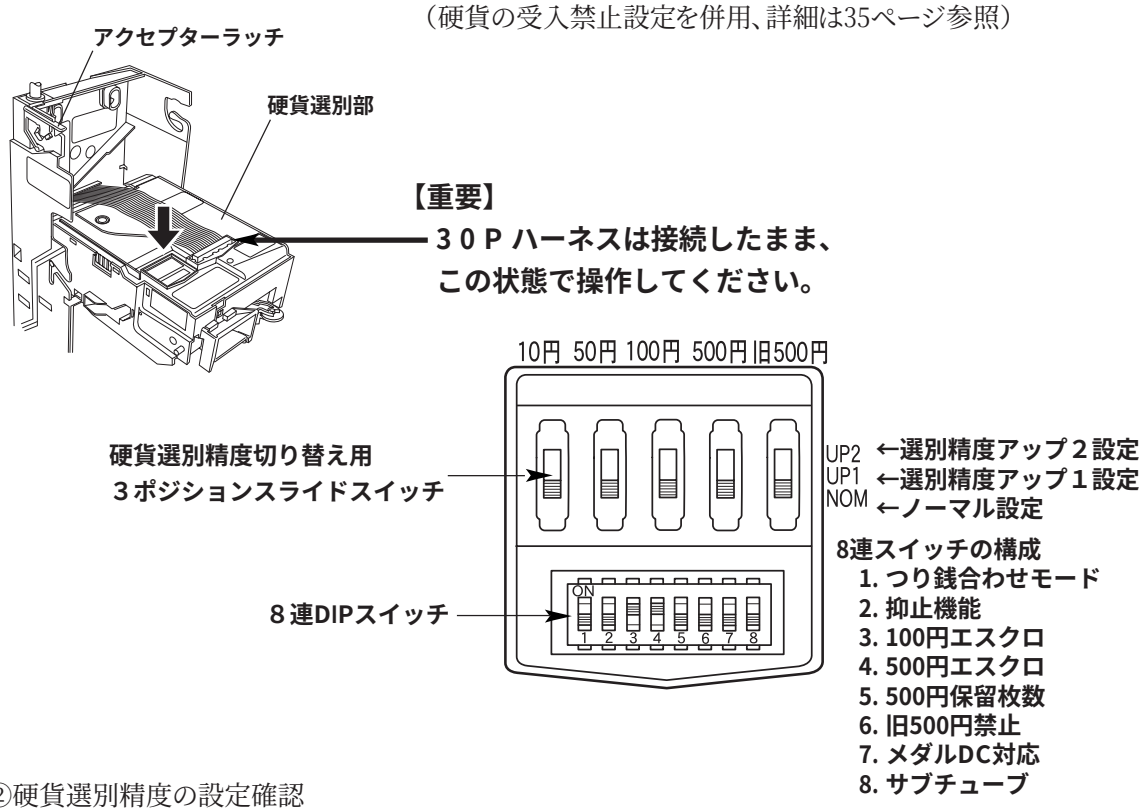
①硬貨選別精度の設定

硬貨の選別精度アップが必要な場合にのみ行います。

硬貨選別精度切り替えスイッチ（3ポジションスライドスイッチ）を操作することにより、2段階の硬貨選別精度アップ設定が行えます（“精度アップ1”、“精度アップ2”）。

精度切り替えは10円、50円、100円及び新旧500円の5金種について可能であり、該当金種のスイッチを刻印された位置にすることにより硬貨選別精度が切り替わります。

硬貨選別精度ノーマル設定　：“NOM”と刻印された位置に設定
硬貨選別精度アップ1設定　：“UP1”と刻印された位置に設定
硬貨選別精度アップ2設定　：“UP2”と刻印された位置に設定
（硬貨の受入禁止設定を併用、詳細は35ページ参照）



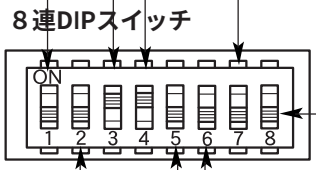
②硬貨選別精度の設定確認

硬貨選別精度の設定状況は、以下の方法にて確認可能です。

操作手順	操　作　内　容	ｱｸｾﾌﾟﾀｰﾗﾝﾌﾟ（赤）
①	選別精度アップに設定されている硬貨を投入しますとアクセプターランプ（赤）が下記のように点滅を行います。 硬貨選別精度ノーマル設定　：点灯のまま 硬貨選別精度アップ１設定　：２回点滅 硬貨選別精度アップ２設定　：３回点滅 **【注意】** **点滅が１回の場合は受入禁止設定に設定されています。** **（詳細は35ページ参照）**	**設定状況により点滅**

【注意】

硬貨選別精度切り替え用３ポジションスライドスイッチの設定は電源が“OFF”か待機状態のとき行ってください。



●つり銭合わせモード切替スイッチ（8連スイッチの1番）

つり銭合わせ機能をチューブ残量方式にするときは上側（ON側）に、チューブイン方式にするときは下側（OFF側）にノブを合わせます。

尚、つり銭合わせ機能を使用しない場合は、必ず下側（OFF側）にセットしておいてください。

●エスクロ機能スイッチ（8連スイッチの3番、4番）

①100円エスクロスイッチ（3番）

100円貨の投入返却動作が行われた場合に、投入された100円貨の現物を返却する機能です。スイッチ番号3を上側（ON側）にすることにより設定できます。

②500円エスクロスイッチ（4番）

500円貨の投入返却動作が行われた場合に、投入された500円貨の現物を返却する機能です。スイッチ番号4を上側（ON側）にすることにより設定できます。

●メダルデータコマンド対応切り替えスイッチ（8連スイッチの7番）

メダル専用通信データコマンド対応を設定するスイッチです。

①メダル専用通信データコマンド未対応（7番をOFF側にノブ設定）

既存の自動販売機に本機を接続し、メダルを受け入れ可能に設定して動作させる場合にはOFF設定にします。

※メダル受け入れ設定後、8連スイッチ7番を動かしますと調整値は、クリアされます。8連スイッチ7番を切り替えた場合には、再度メダル受け入れ設定が必要となります。

②メダル専用通信データコマンド対応（7番をON側にノブ設定）

メダル専用通信データコマンド対応の自動販売機に接続し、メダルを受け入れ可能に設定して動作させる場合には、ON設定にします。

※メダル受け入れ設定方法は、41ページ参照してください。

●サブチューブ金種設定スイッチ（8連スイッチの8番）

サブチューブに10円貨を使用するときは、下側（OFF側）に、100円貨を使用するときは、上側（ON側）にノブを合わせます。

●旧500円硬貨受入禁止スイッチ（8連スイッチの6番）

スイッチ番号6を上側（ON側）に設定することにより、旧500円硬貨の受け入れを禁止します。

●500円保留枚数切り替えスイッチ（8連スイッチの5番）

500円硬貨保留枚数を設定するスイッチです。

このスイッチが上側（ON側）設定で約70枚、下側（OFF側）設定で約8枚までチューブに保留します。

● 抑止機能スイッチ（8連スイッチの2番）

「抑止モード」設定スイッチを上側（ON側）にすることによって、「抑止モード」の設定ができます。

「抑止モード」を選択しますと、以下の機能が働きます。

①連続投入枚数の制限

一度に投入可能な枚数を下記枚数に変更します。

100円 ｴｽｸﾛ設定	500円 ｴｽｸﾛ設定	500円 保留枚数設定	一度に投入可能な枚数			
			10円	50円	100円	500円
		8枚設定	20	4	4	1
		70枚設定	20	4	4	1
○	○	8枚設定	20	4	4	1
○	○	70枚設定	20	4	4	1

【注意】

つり銭合わせモード切替スイッチ（８連スイッチの１番）の設定は電源が“ OFF ”のとき、その他のスイッチの設定は電源が“ OFF ”か待機状態のとき行ってください。

②返却操作による受入禁止タイマー機能

50円／100円／500円を対象とし、各金種別に投入状態、返却操作回数を記憶しておりますので、条件を満たした金種のみ受入禁止が可能となっております。

（1）受入禁止タイマー起動条件

条件１：連続投入制限枚数まで投入した後、返却レバー操作にて返金された場合

条件２：連続投入制限枚数に満たない状態で、返却レバー操作にて連続２回返金された場合

（2）受入禁止タイマーの学習機能

連続して受入禁止タイマー起動条件を満たすような場合は、回数を重ねる毎に受入禁止タイマーを長く設定します。　本学習機能は、受入禁止とする金種に関係なく、連続して受入禁止タイマーが起動した場合に働きます。

販売動作がなされた後の受入禁止タイマー起動時は、初期値の30秒に戻ります。

１回目	：30秒
２回目	：１分
３回目	：２分
４回目	：４分
５回目以降	：４分

●返却操作の例

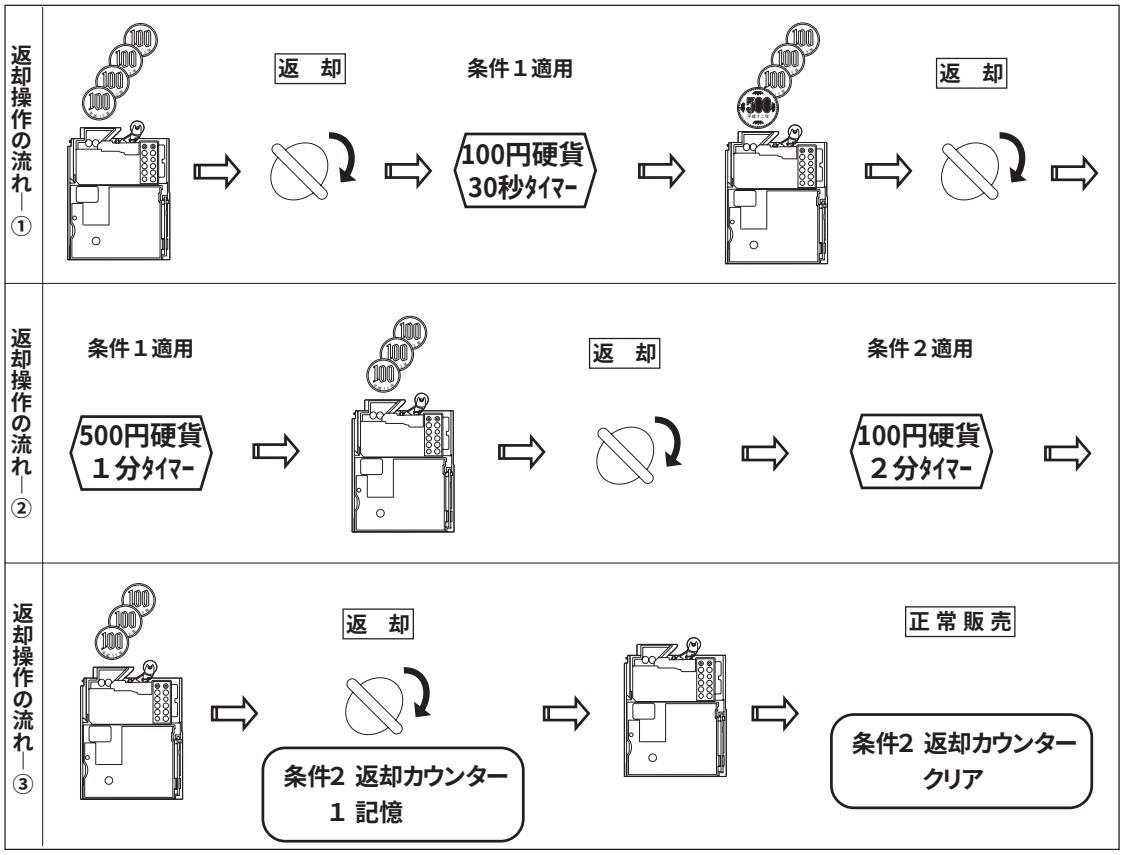
１回目：100円により100円受入禁止タイマー起動　→　30秒

２回目：500円により500円受入禁止タイマー起動　→　１分

３回目：100円により100円受入禁止タイマー起動　→　２分

（下図を参照してください）

●返却操作の例



（3）受入禁止タイマーの解除

・受入禁止タイマータイムアップ

・電源“ OFF/ON ”により解除します。

（4）返却レバー操作回数のクリア

・販売動作がなされた場合

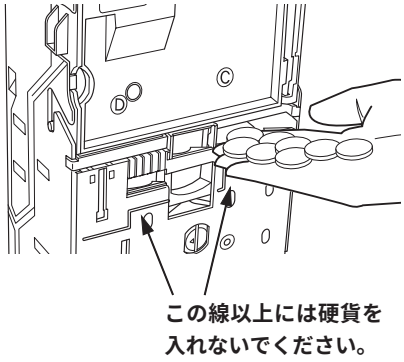
・受入禁止タイマータイムアップ

・電源“ OFF/ON ”によりクリアされます。

7−3　つり銭硬貨の入れかた

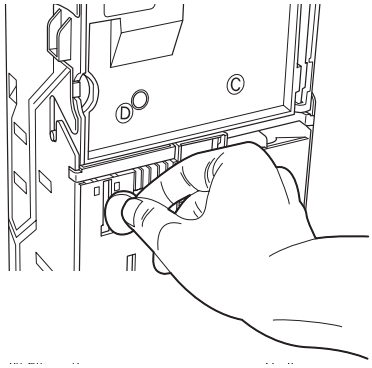
●チューブ補給口より入れる場合

● 100円貨、50円貨、10円貨の場合
上の投入口より各つり銭チューブにそれぞれ硬貨を入れます。



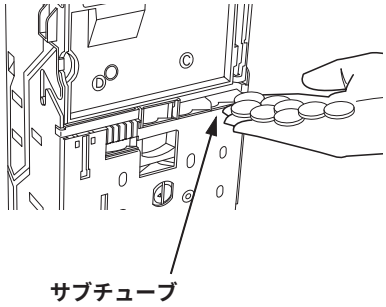
【チューブには16枚以上入れてください】

● 500円貨の場合
一枚づつ硬貨を入れます。



【チューブには1枚以上入れてください】

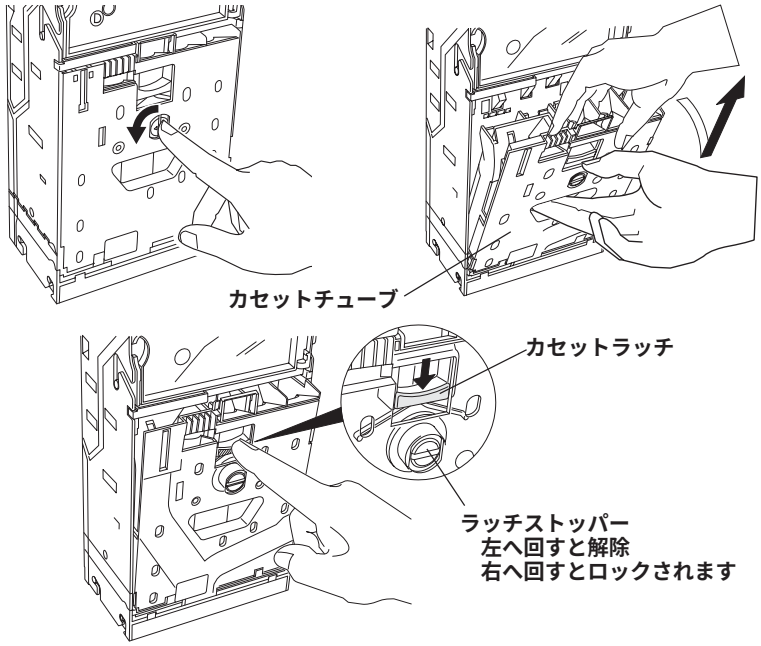
●サブチューブの場合
￥10－￥100の金種設定に合わせた硬貨を入れます。



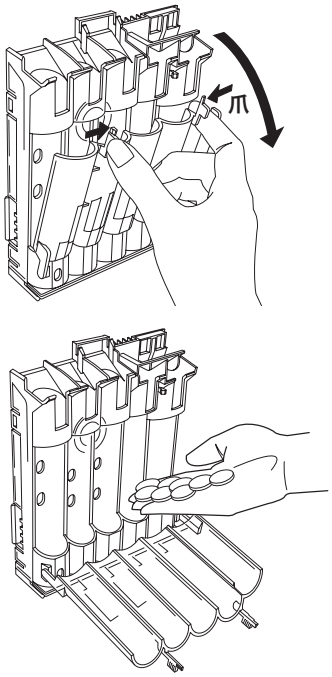
【ご注意】●線以上に硬貨を入れないでください。
●変形硬貨を入れないようにご注意ください。
●硬貨が立った場合は直してください。

● カセットチューブを取外して入れる場合

①カセットチューブを取外します。
カセットラッチがロックされている場合はラッチストッパーを解除してください。 カセットラッチを指で押し下げカセットチューブを手前に倒し、取外します。
取外しのときチューブ内に硬貨が入っていると重量がありますので両手で取外す様にしてください。



②リアチューブを開き、それぞれのチューブに各硬貨を補給します。
サブチューブには¥10−¥100の金種設定に合わせた硬貨を入れてください。



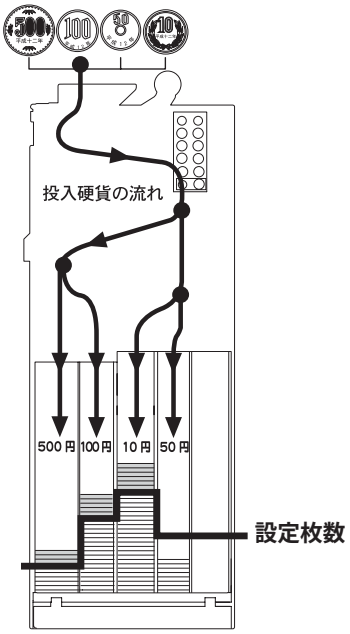
★カセットチューブを外したときは、セット後必ず次の処置を行ってください。
全硬貨を最低２枚以上投入し、各チューブ及びエスクロシュートに正しく保留されることを確認し、硬貨返却用ローラを押して返却されることを確認してください。

【ご注意】
●線以上に硬貨を入れないでください。
●変形硬貨を入れないようにご注意ください。
●硬貨が立った場合は直してください。

7−4　簡易自動つり銭合わせ機能の使いかた(サブチューブは除く)

＜チューブイン方式＞

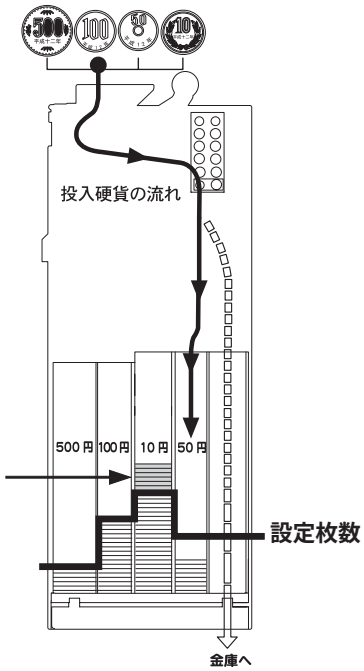
［８連スイッチ１番を下側(OFF側)にノブ設定］
カセット脱着時に設定されたつり銭枚数に合わせるべく、硬貨回収時に増加している自動補給チューブの硬貨を払い出す方式であり、投入された硬貨は、つり銭チューブが満杯になるまで保留されます。



各硬貨は満杯になるまで各チューブへ流れます。
回収時は、設定枚数以上の増加分の硬貨を払い出します。
不足分はモニターランプで点滅指示します。

＜チューブ残量方式＞

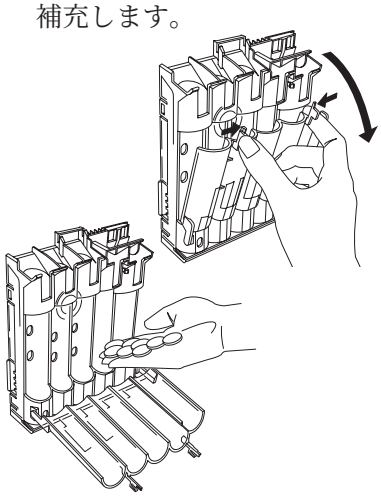
［８連スイッチ１番を上側(ON側)にノブ設定］
カセット脱着時に設定されたつり銭枚数に、つり銭チューブの硬貨保有枚数が達した場合、以降の投入硬貨を金庫側に導く方式です。　但し、設定枚数以上であっても金種とつり銭情報によってはつり銭を確保する為、チューブへ保留する場合があります。（詳細は20ページ参照）



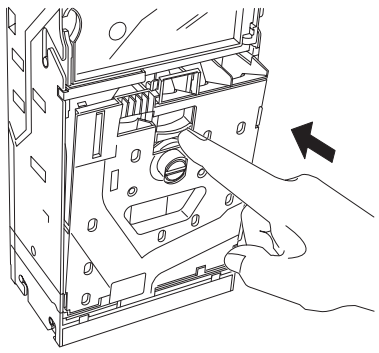
各硬貨は設定枚数以上になると金庫側に流れます。
但し、つり銭情報によりつり銭確保の為硬貨を保留する場合があります。
回収時は、設定枚数以上の増加分の硬貨を払い出します。
不足分はモニターランプで点滅指示します。

①設定のしかた

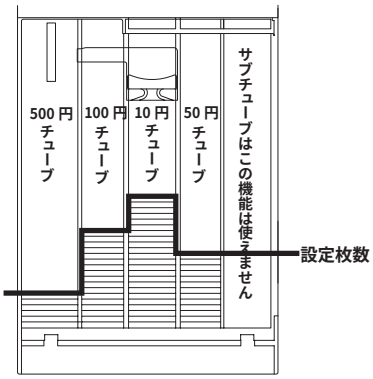
(1)カセットチューブを外し、設定したい枚数を各金種チューブに補充します。



(2)カセットチューブをコインメックにセットします。



(3)セット完了です。
コインメック自身はセット時の硬貨枚数を認識しませんが、その時点を0(基準)として硬貨の出入りのプラス／マイナス分を記憶します。



●つり銭は下記の範囲で設定してください

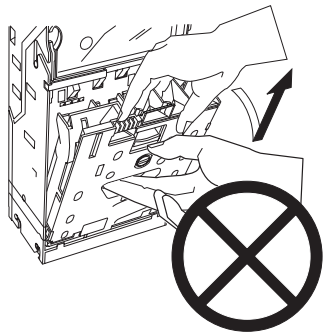
チューブ	保留枚数
10円	16枚以上、87枚以下
50円	16枚以上、80枚以下
100円	16枚以上、75枚以下
500円(８枚)	1枚以上、4枚以下
500円(70枚)	1枚以上、65枚以下

【ご注意】

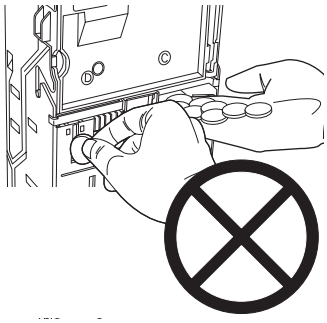
- 各つり銭チューブ(100円・50円・10円)の最初に設定する枚数は、つり銭有りにするため16枚以上で設定してください。
- 500円１枚検知機能付きの機種につきましてはカセットチューブ装着後、21ページの操作を行うことで初期値を１枚として増減管理することが可能です。
- 本機能はバックアップ機能を備えていませんので、カセットチューブを外した時、停電などで電源が遮断された時や主制御側との通信が遮断された時（インベントリーパネルの“自動”表示スイッチを押している間、モニターランプが１秒周期の交互点滅を行います）は、再設定してください。

②日常の取扱い

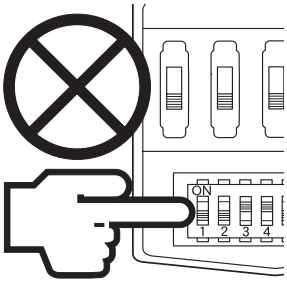
● 硬貨は直接回収しない
カセットチューブを外さない



● 途中で硬貨を直接補充しない
補充した硬貨分、チューブに多く保留したままになります



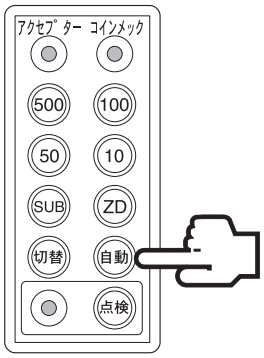
● 途中でモード（８連スイッチの１番）を切り替えない
その時点での状態を増減管理データの初期値としての設定に変更されます



③つり銭の回収／補充のしかた

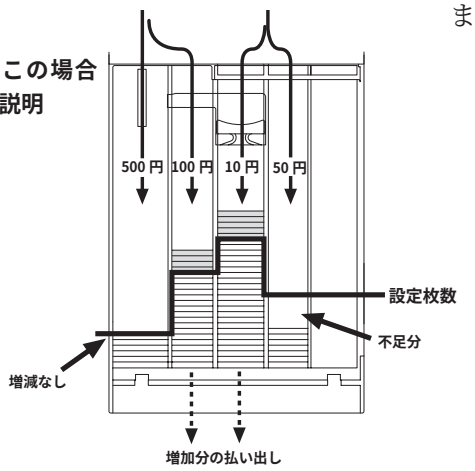
●操作はチューブイン方式及びチューブ残量方式とも共通です
(1)インベントリースイッチの“ 自動 ”ボタンを１秒以上押すことによりセット数より多い分の硬貨を払い出し、セットした枚数になります。

インベントリースイッチ

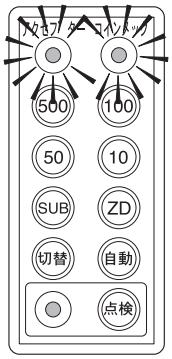


⇒

【例】
以下この場合での説明

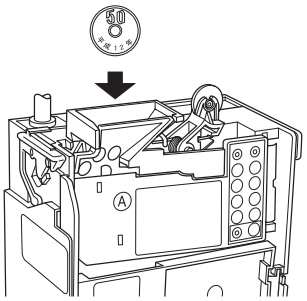


(2)つり銭が設定枚数より少ない硬貨がある場合、アクセプター・コインメックランプが同時点滅します。



①＜不足硬貨を確認できた場合＞

例えば50円硬貨



⇒

●コイン投入口より硬貨投入を行い初期設定位置まで受入します。
●オーバー分の投入硬貨は、返却口へ戻します。
●初期設定枚数に達成後はアクセプタ・コインメックランプが消灯します。

⇒

不足硬貨の投入完了後は、返却レバーを押すか、そのままの状態20秒で自動復帰します。

【注記】
不足硬貨補充の際、オーバーフローセンサーがONしていると以降の入金はオーバーフローしますので、その時点で増減カウンターを初期値（±0）にセットします。

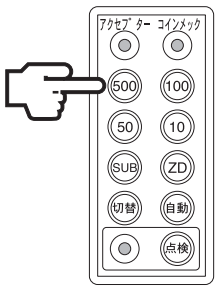
【例】
初期設定時、500円保留枚数切替SW８枚設定、500円15枚補充の場合

動作	500円増減ｶｳﾝﾀｰ	500円ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰｾﾝｻｰ
初期設定(15枚補充)	±0	ON
500円払い出し	−1	ON
500円払い出し	−2	ON
簡易自動つり銭合わせ開始	±0	ON

500円増減カウンターはマイナスですが、オーバーフローセンサーONにより、500円増減カウンターを初期値(±0)にセットします。

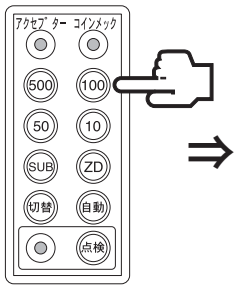
②＜不足硬貨を確認できない場合＞

［500円硬貨の場合］



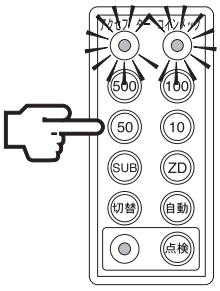
⇒ **500円硬貨は不足が無いのでアクセプタ･コインメックランプが消灯します。（スイッチを押している時間に連動しています）**

［100円硬貨の場合］



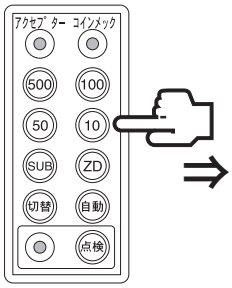
⇒ **100円硬貨は不足が無いのでアクセプタ･コインメックランプが消灯します。（スイッチを押している時間に連動しています）**

［50円硬貨の場合］



⇒ **50円硬貨は不足が発生しているので､アクセプタ･コインメックランプが同時点滅します。（スイッチを押している時間に連動しています）**

［10円硬貨の場合］



⇒ **10円硬貨は不足が無いのでアクセプタ･コインメックランプが消灯します。（スイッチを押している時間に連動しています）**

注意） 複数のスイッチを同時に押さないでください。

複数のスイッチを同時に押した状態では､スイッチ操作は無効になります。

不足硬貨の投入完了後は、返却レバーを押すか、そのままの状態20秒で自動復帰します。

注意

- **初期設定をクリアしない限り､自動復帰後もつり銭合わせが可能です。**
- **電源ON/OFF及びカセットチューブを外した場合は､つり銭の初期設定をクリアします。**
- **何らかの異常が発生した場合､不足の記憶は残りますので異常を解消後､再度‘ 自動 ’ボタンを押して確認してください。**

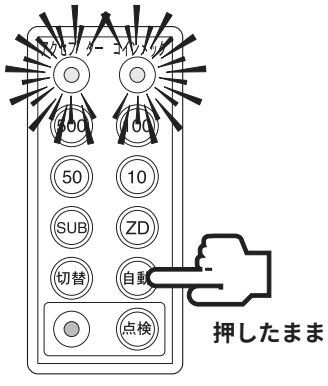
④簡易チューブ残量機能の動作説明

・電源投入後、初期値設定無しまたは瞬停時の動作

電源投入後、初期値設定がなされていない場合、または瞬停時には、設定状態はクリアされていますので、電源復帰後は簡易チューブ残量機能は動作しません。（カセットチューブ満杯になるまで、投入硬貨はカセットチューブに入ります。）

簡易チューブ残量機能が動作していないことを示すため、インベントリーパネルの“ 自動 ”スイッチを押しますと、スイッチを押している間アクセプター・コインメックランプが１秒周期の交互点滅となります。

尚、チューブイン設定の場合も同じ状態になります。



１秒周期の交互点滅

⑤チューブ残量方式使用時の仕様

⑤-1 最大投入枚数

カセット装着時のつり銭情報	500円		100円		50円	10円
	エスクロ設定	エスクロ無し設定	エスクロ設定	エスクロ無し設定		
つり銭有り	３枚	４枚	４枚	10枚	10枚	20枚
つり銭無し	３枚	１枚	４枚	10枚	10枚	20枚

⑤-2 投入硬貨の流れ

（1）チューブ残量方式時の動作（500円１枚検知機能無しの場合）

カセット脱着時（初期値設定）の各エンプティ状態による硬貨の流れは下表の通りとなります。

金種	カセット脱着時のつり銭情報	エスクロ設定	カセット脱着による設定後の投入硬貨
10円	つり銭有り	―――	設定後、 ①10枚増加までチューブへ導入 ※1 但し、チューブ導入分はつり銭合わせスイッチ（自動ボタン）を１秒押すと払い出します。 ②10枚増加以降は金庫へ導入
	つり銭無し	―――	設定後、 ①つり銭情報が「つり銭有り」なってから10枚増加まで又は最大投入枚数の20枚までチューブへ導入　※1と同じです。 ②つり銭情報が「つり銭有り」後10枚増加、又は最大投入枚数の20枚となった以降は金庫へ導入
50円	つり銭有り	―――	設定後、 初期値より増加分は金庫へ、減少分はチューブへ導入
	つり銭無し	―――	設定後、 ①つり銭情報が「つり銭有り」又は最大投入枚数の10枚までチューブへ導入 ※1と同じです。 ②つり銭情報が「つり銭有り」、又は最大投入枚数の10枚となった以降は金庫へ導入
100円	つり銭有り	有り	設定後、 初期値より増加分は金庫へ、減少分はチューブへ導入
		無し	
	つり銭無し	有り	設定後、 ①つり銭情報が「つり銭有り」又は最大投入枚数の10枚までチューブへ導入 ※1と同じです。 ②つり銭情報が「つり銭有り」、又は最大投入枚数の10枚となった以降は金庫へ導入
		無し	
500円	つり銭有り	有り	設定後、 初期値より増加分は金庫へ、減少分はチューブへ導入
		無し	
	つり銭無し	有り	販売後のエスクロ硬貨はすべて金庫へ導入
		無し	設定後、 ①始めの１枚はチューブへ導入 ②２枚目以降は金庫へ導入 ※1と同じです。

（2）チューブ残量方式時の動作（500円１枚検知機能有りの場合）

500円１枚検知機能有りの場合、カセット脱着時（初期値設定）の500円硬貨に関わる動作は下表の通りとなります。（500円以外の金種につきましては上表と同様です）

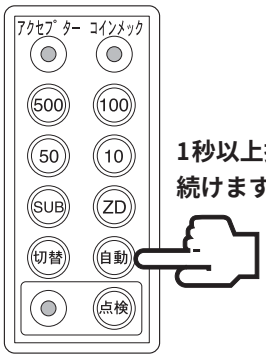
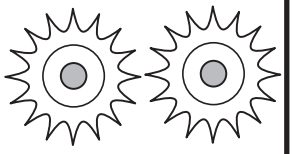
金種	カセット脱着時のつり銭情報	エスクロ設定	500円１枚検知機能の検出結果	カセット脱着による設定後の投入硬貨
500円	つり銭有り	有り	つり銭無し	設定後、 初期値より増加分は金庫へ、減少分はチューブへ導入
			つり銭有り	設定後、 初期値より増加分は金庫へ、減少分はチューブへ導入
		無し	つり銭無し	設定後、 初期値より増加分は金庫へ、減少分はチューブへ導入
			つり銭有り	設定後、 初期値より増加分は金庫へ、減少分はチューブへ導入

金種	カセット脱着時のつり銭情報	エスクロ設定	500円１枚検知機能の検出結果	カセット脱着による設定後の投入硬貨
500円	つり銭無し	有り	つり銭無し	販売後のエスクロ硬貨は全て金庫へ導入
			つり銭有り	設定後、 初期値より増加分は金庫へ、減少分はチューブへ導入
		無し	つり銭無し	設定後、 ①初めの１枚はチューブへ導入 ②２枚目以降は金庫へ導入 但し、チューブ導入分はつり銭合わせスイッチ（自動ボタン）を１秒押すと払い出します。
			つり銭有り	設定後、 500円硬貨の受入可能枚数は１枚となり、初期値より増加分は金庫へ、減少分はチューブへ導入

上表の500円１枚検知機能の検出結果で“つり銭無し”は下記の操作を行っていない、もしくは操作を行ったが500円硬貨が検出されなかった場合の動作となります。500円硬貨が検出された場合は“つり銭有り”の動作をします。

（３）500円１枚検知機能での500円硬貨検出方法

カセットチューブに入れる500円硬貨を定量以下で増減管理したい場合、カセットチューブ装着後、次の操作を行うことにより１枚の500円硬貨を増減管理することが可能となります。

操作手順	操作内容	モニターランプ
①	①カセットチューブ装着後、つり銭合わせスイッチ（“自動”表示）を１秒以上押し続けます。 ②１秒後、アクセプターランプ（赤）及びコインメックランプ（黄）が消灯します。  **1秒以上押し続けます**	**１秒後　消灯** **ｱｸｾﾌﾟﾀｰ（赤）　ｺｲﾝﾒｯｸ（黄）**
②	①返却レバーを操作することにより、1回払い出し動作を行い（硬貨は払い出されません）500円硬貨の有無を確認します。 ②アクセプターランプ（赤）及びコインメックランプ（黄）が点灯します。 **返却レバーを操作する** **【注意】** **カセットチューブ装着後、本操作を行う前に次の動作が発生すると、本操作は行えなくなります。** **５００円硬貨１枚の増減管理を行う場合は再度カセットチューブの脱着を行ってください。** **（１）入金があった場合。** **（２）払い出しに関わる動作があった場合。**	**点灯** **ｱｸｾﾌﾟﾀｰ（赤）　ｺｲﾝﾒｯｸ（黄）** 

7−5　販売テスト

1．販売機側の電源スイッチを入れてください。（ONする）
2．10円、50円、100円、新旧500円貨を各１枚づつ投入してください。
- ● 金額表示器に正しく表示されますか？
- ● 販売機側の販売可ランプが点灯しますか？（商品が入っているとき）
- ● 旧500円硬貨を受入禁止に設定している場合は、旧500円貨は返却口に戻りましたか？

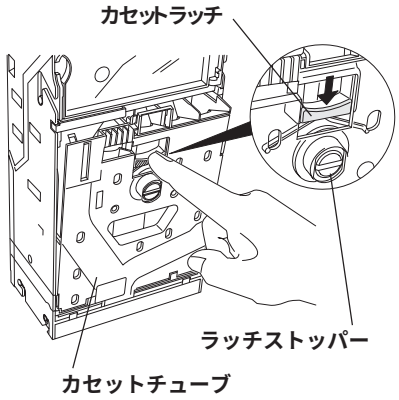
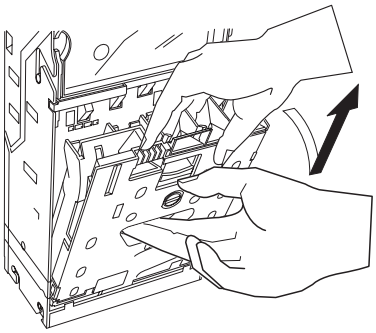
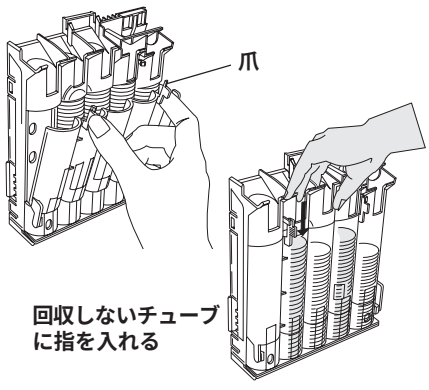
3．販売機側の返却レバーを操作してください。
- ● 返却された硬貨は投入した硬貨と合っていますか？
- ● 100円/500円エスクロ設定している場合、返却硬貨は投入した現物硬貨と合っていますか？

4．10円、50円、100円、500円貨を投入し、販売機側の販売ボタンを押してください。
- ● おつりが正しくでてきましたか？（商品を取出してください）

5．メダル選別調整機能を使用時は、使用メダルを投入してください。
- ● 金額表示器にメダルの設定金額が正しく表示されますか？
  （モード１以外はメダルは金庫に収納されます）
- ● モード１を設定時は、メダル１枚保留されましたか？
  返却レバーを操作してメダルが返却口に戻りましたか？
- ● メダルで販売テストを行ってください、メダルではつり銭は出ません。
  以上の各動作を一通り行い、異常がなければ準備OKです。もしも異常がある場合は、この取扱説明書を読み直してお確かめください。
  尚、上記の操作は標準的な設定を想定した操作ですので、実際のテストは各々の設定内容に合わせた操作を行ってください。

7−6　つり銭硬貨の回収のしかた

● カセットチューブを外して回収する場合

①カセットラッチがロックされている場合はラッチストッパーを解除してください。 青のカセットラッチを指で押し下げ、カセットチューブを手前に倒します。	②硬貨が入っているとかなりの重量がありますので、**必ず両手でカセットチューブを持上げて取出します。**	③リアチューブのロックを外し、手前に開くと硬貨が回収できます。 また、リアチューブを開けずに回収したい硬貨以外のチューブに指を入れカセットを逆さにしても回収できます。
		

★カセットチューブを外したときは、セット後必ず次の処置を行ってください。
全硬貨を最低２枚以上投入し、各チューブ及びエスクロシュートに正しく保留されることを確認し、販売機の返却レバーを操作して返却されることを確認してください。

【注意】
●簡易自動つり銭合わせ機能でつり銭管理をしている場合は、必ずインベントリースイッチの“自動”のボタンを押してつり銭を回収してください。（23ページ参照）
カセットチューブを外して回収した場合は、再度設定し直してください。

7−7　インベントリースイッチの使いかた

7-7-1 インベントリースイッチで硬貨を回収する場合

インベントリースイッチは、パネル内の６個(“ 500 ”、“ 100 ”、“ 50 ”、“ 10 ”、“ SUB ”、“ ZD ”)のスイッチが各々専用となり単独操作が出来ます。

押すと払出し動作となり、もう一度押すと止ります。(止めるときは、“ 切替 ”と“ 自動 ”と“ 点検 ”を除く６個のどのスイッチを押しても止ります。)

インベントリー動作時は各チューブの払い出し動作前に、下記の内容にて500円及び100円エスクロ部のレバーが動作します。

①500円･100円インベントリースイッチ操作時は、エスクロ設定の有無に関係無く、初めに１回、エスクロ部の金庫導入動作を行います。

②500円･100円以外(50円･10円･SUB･ZD)のインベントリースイッチ操作時は、エスクロ設定の有無に関係無く、エスクロ部の動作は行いません。(以下の③を除く)

③エスクロ設定がされ、500円もしくは100円又はその両方がエスクロしている状態では、全てのインベントリー動作時に、500円･100円がエスクロしている枚数分、その硬貨をチューブまたは、金庫導入動作を行います。

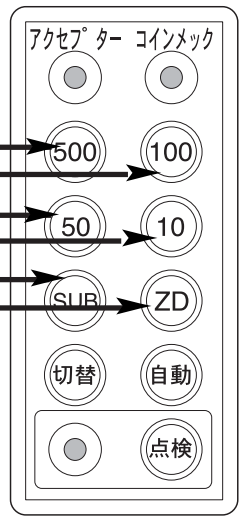
★各チューブインベントリー・スイッチ

①チューブの金種と同じスイッチを押すと、そのチューブの払出し動作となります。
- ･硬貨の払出しの有無に関係なく100回動作後自動停止します。
- ･つり銭検知機能により、つり銭なしを検知した時点から20回(500円は15回)連続動作後自動停止します。

②“ SUB ”を押すとサブチューブの払出し動作となります。
- ･硬貨の払出しの有無に関係なく110回動作後自動停止します。
- ･つり銭検知機能により、つり銭なしを検知した時点から20回連続動作後自動停止します。

★補助チューブインベントリー・スイッチ

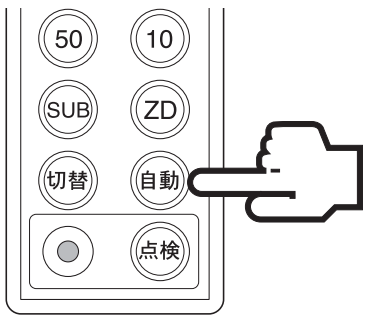
①つり銭補助機が１台以上装着されているとき押すと補助機側の払出し動作となります。つり銭補助機はコインメカニズム側からA、B、Cの順になります。
補助機１台Aのみの動作、補助機２台 →A→B の繰返し。
補助機３台 →A→B→C の繰返し。



7-7-2 簡易自動つり銭合わせスイッチ（自動）による回収の場合

簡易自動つり銭合わせ機能を使用している場合

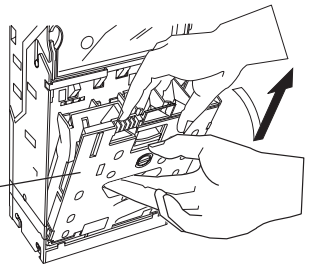
スイッチを**１秒以上押す**ことにより簡易自動つり銭合わせ動作となり、つり銭増加分の払出しを行い、不足硬貨の投入待ちを行います。
(17ページの使いかたを参照してください)

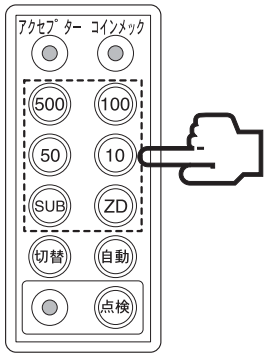


7-7-3 コインメックの操作によるインベントリー禁止設定のしかた

主制御によるインベントリー動作の禁止とは別に、コインメックの操作によりインベントリー動作の許可／禁止設定をする機能です。

●コインメック操作によるインベントリー禁止(設定／解除)方法

<table>
<tr><th>操作手順</th><th>操　　作　　内　　容</th><th>ｺｲﾝﾒｯｸﾗﾝﾌﾟ（黄）</th></tr>
<tr><td>①</td><td>＜インベントリー動作の禁止を設定するには＞
カセットチューブをコインメックから外します。
 
</td><td>点滅</td></tr>
<tr><td>②</td><td>①インベントリーパネルの“ＺＤ”表示スイッチを５秒以上押し続けてください。
②５秒後、コインメックランプ（黄）が１秒間高速点滅し、インベントリー動作の禁止設定になったことを知らせます。

5秒以上押し続けます</td><td>点滅
5秒後高速点滅</td></tr>
<tr><td rowspan="3">③</td><td colspan="2">＜インベントリー動作の禁止を解除するには＞
操作手順①～②からの操作を再度、同じに行います。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">＜インベントリー動作の禁止を確認する場合＞
●コインメック操作によるインベントリー禁止設定がされている場合、インベントリースイッチ(6個のスイッチのいずれか)を押すとコインメックランプが1秒間消灯します。
 
</td><td>１秒間　消灯</td></tr>
<tr><td>●コインメック操作による禁止と、主制御による禁止の両方が設定されている場合、インベントリースイッチを押すとコインメックランプは主制御による禁止時の状態である“1秒間　点滅”を優先して知らせます。</td><td>１秒間　点滅</td></tr>
</table>

8 簡単なお手入れ

コインメックは、硬貨、メダル、ほこり、水ぬれ、異物の付着などで汚れてきます。汚れがひどくなると規定の選別、払出し機能が維持できなくなりますので、１～３ヶ月に１度、必要に応じて清掃してください。（自動販売機の構造、設置場所により異なります。）

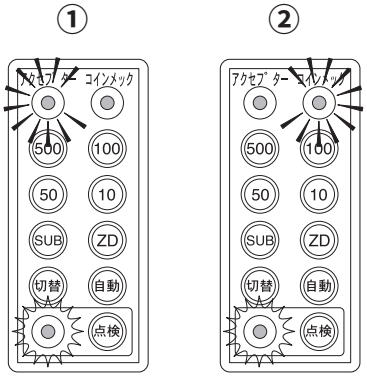
●点検ランプの点灯による場合

①点検ランプが点灯し、アクセプターランプ（赤）が点滅している時は硬貨選別部を取り外して、清掃・チェックをしてください。

②点検ランプが点灯し、コインメックランプ（黄）が点滅している時は払い出し部を取り外して、清掃・チェックをしてください。

【注意】

清掃・チェックが終了しましたら、点検スイッチを１秒間以上押し続けて点検ランプを消灯させてください。
尚、点検ランプが消灯しない場合は、異常が解消されていませんので再度点検してください。



●硬貨選別部の清掃

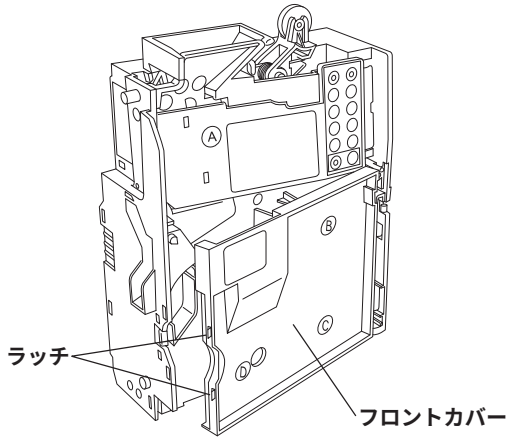
※フロントカバーのはずし方と組立て

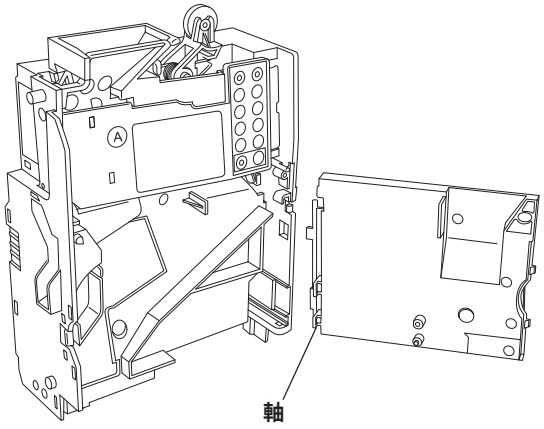
★はずし方

左のラッチをはずし、フロントカバーを手前に開きます。
右側上部の軸から先に外し、フロントカバーを外します。

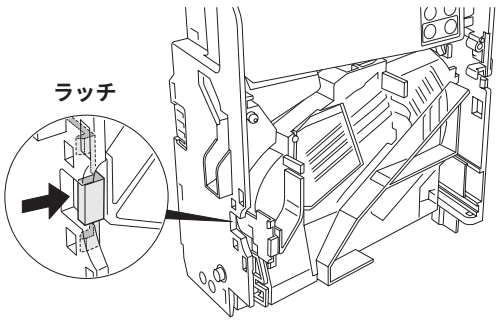
★組立て方

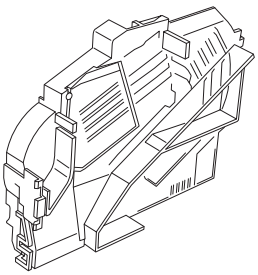
右側下部の軸を先にセットし、上部シャフトを押し込み、フロントカバーを閉め**“パチン”**と音がするまで押し込みます。

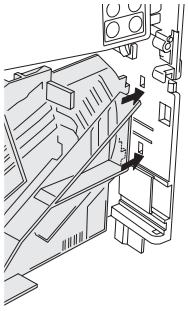




※通路カバーセットのはずし方と組立





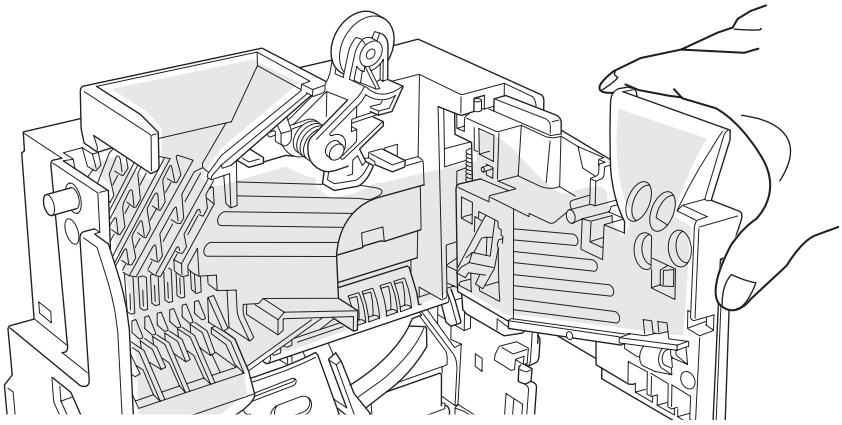


① 通路カバーセットの左側のラッチを外し手前に開き、通路カバーセット全体を取外します。
組立のときは、右側のラッチをメインプレートの穴に合わせてから、左側を押し込みセットします。

●硬貨選別部の清掃

●通路部の清掃

ゲートを開きアミ部分の各硬貨通路部分をよく清掃してください。

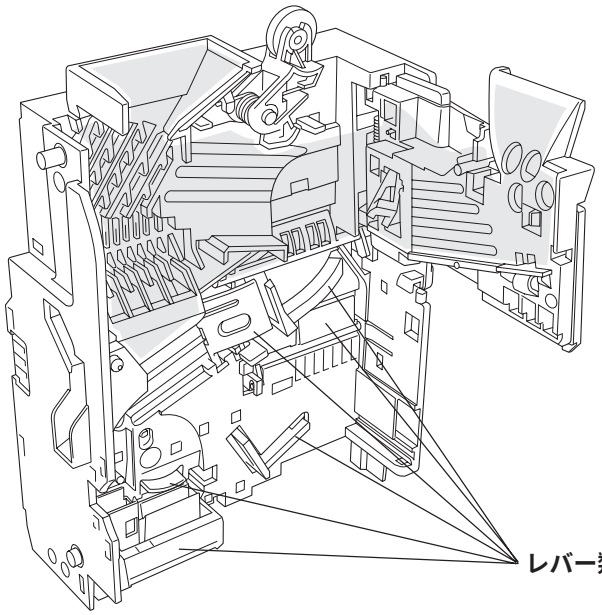


【ご注意】

汚れが取りにくいときは、アルコールをつけてふきとってください。
シンナー・ベンジン等の揮発性のものは絶対使用しないでください。

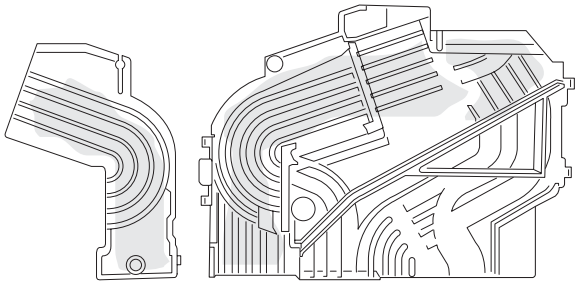
上記の方法でも汚れが取りきれない時

フロントカバー、通路カバーセットをはずして、メインプレート、通路カバーセット類を乾拭きしてください。またアミ部分の各硬貨通路部分は特によく清掃してください。



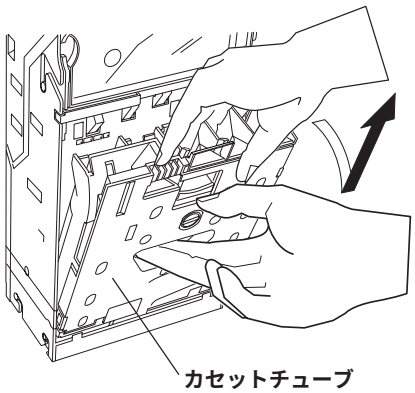
【ご注意】

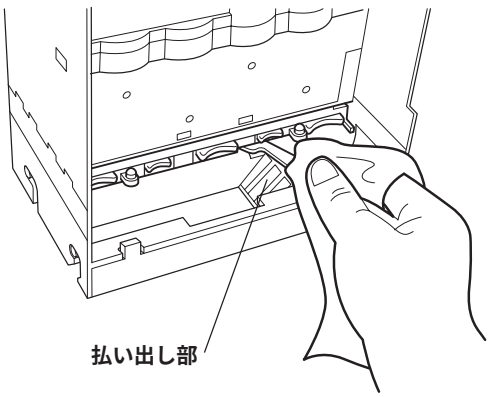
1. 乾拭きするときメインプレートについている各レバーやスプリングに十分注意してください。



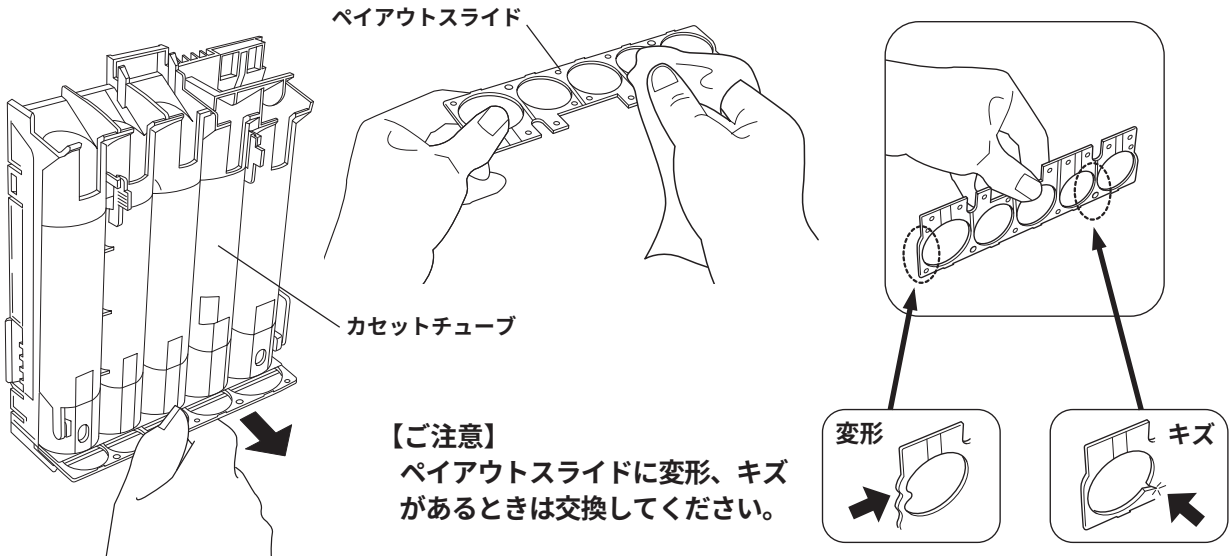
●コインメック本体の払出し部の清掃

①カセットチューブをはずし、払い出し部を清掃してください。





②カセットチューブよりペイアウトスライドを外して、固くしぼったウエスで清掃してください。

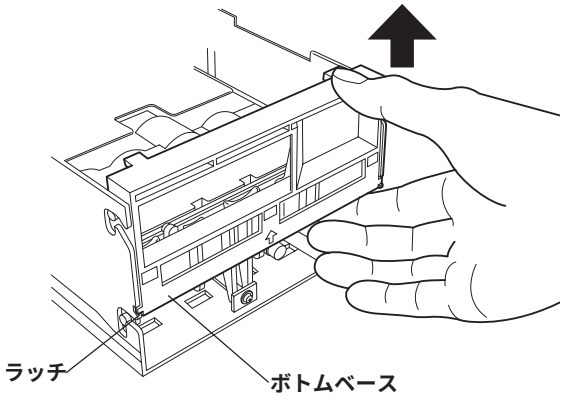


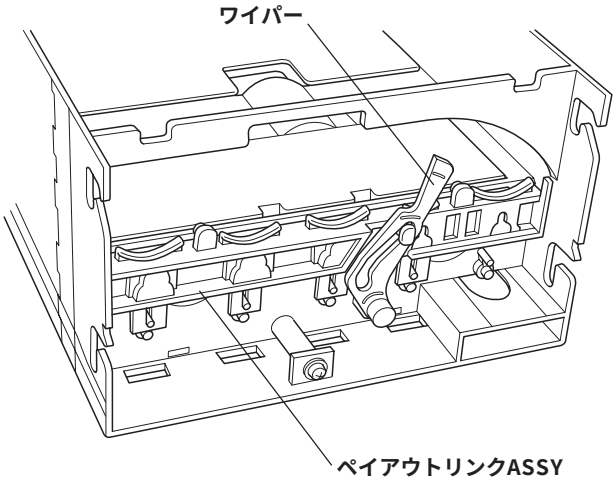
【ご注意】
ペイアウトスライドに変形、キズがあるときは交換してください。

【清掃セット】
別売の清掃セットを購入されますと、清掃に必要な用具が入っております。

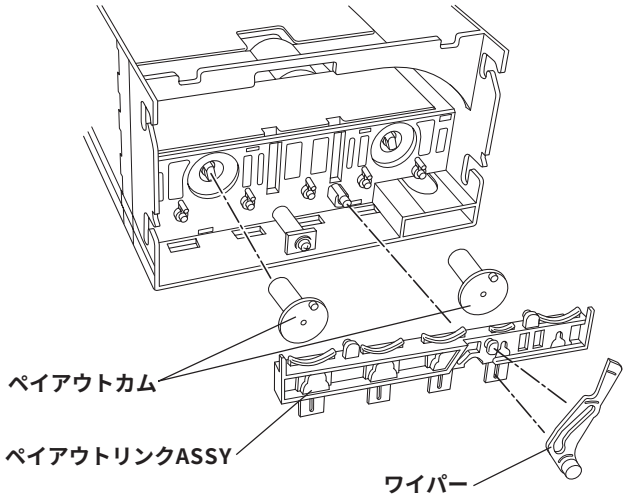
● ペイアウトリンクAssyとワイパーの清掃

①ボトムベース底部の左右ラッチを先に外し、ベース全体を前方に引きながら手前に開き、取外します。
②ワイパー、ペイアウトリンクAssyおよびボトムベースを清掃します。



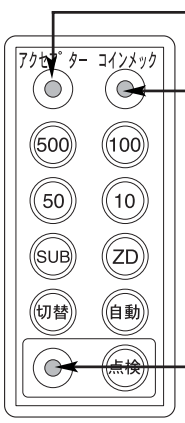


【ご注意】
ペイアウトリンクAssyとワイパーは取外さないで清掃してください。**汚れがひどく取外す場合**は取付けのときまちがえのないよう十分に注意してください。右図にペイアウトリンクAssyとワイパーの組み付けかたを説明しましたので参照してください。
まちがえると払出しができません。



※清掃した後、正常な使用状態において各硬貨又はメダルを投入して、異常がないのを確認してからご使用ください。

9 モニターランプによるトラブルチェック



アクセプターランプ

コインメックランプ

点灯（正常）

点滅（異常）

消灯（異常）

点検ランプ

硬貨、メダルを受け付けない
又は一部の硬貨しか入らない
（つり銭切れ状態を除く）

モニターランプの状態確認

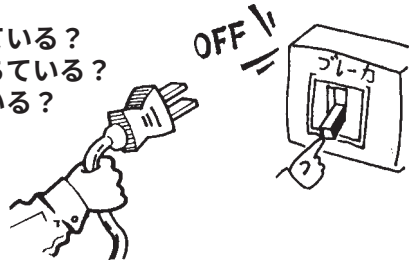
①	②	③	④	⑤
モニターランプ 両方消灯	モニターランプ 両方点灯	アクセプターランプ 点滅	コインメックランプ 点滅	モニターランプ 交互点滅

コインメックのモニターランプが①～⑤のいずれかの状態になっているか確認し、また点検ランプが点灯いているか確認してからトラブルチェックを行います。

---

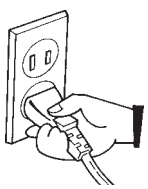
① モニターランプ 両方消灯

- ●停電している？
- ●コンセントが外れている？
- ●漏電ブレーカがおちている？
- ●コネクタが外れている？



はい

処置する



いいえ

電源を OFF/ON する

モニターランプ 両方点灯

いいえ

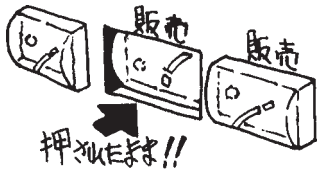
はい

トラブルは解消されました

サービスマンを呼ぶ

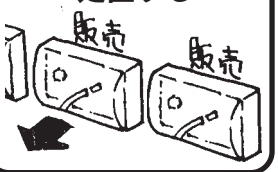
② モニターランプ両方点灯

●商品が途中で詰まっている？
●販売ボタンが押されたままになっている？



はい

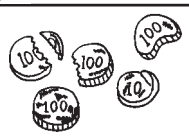
処置する



電源を OFF/ON する

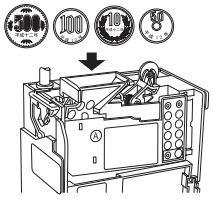
いいえ

●不良硬貨又はメダルを使っている？



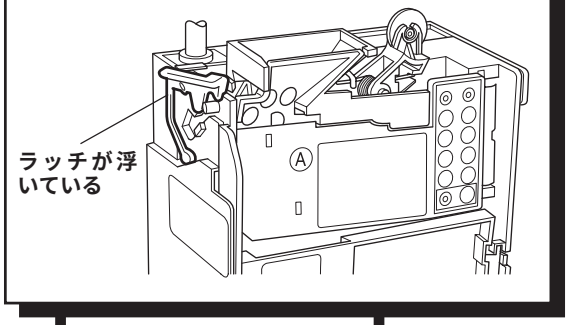
別の硬貨 / メダルを使う

硬貨 / メダルを投入し、正常に受け付けるか？



いいえ

●硬貨選別部がきちんとセットされていない？

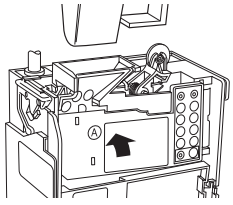


いいえ

●硬貨選別部を清掃する
（25 ページを参照してください）

はい

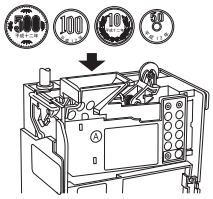
処置する



はい

トラブルは解消されました

硬貨 / メダルを投入し、正常に受け付けるか？



いいえ

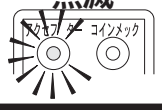
サービスマンを呼ぶ

はい

トラブルは解消されました

③

アクセプターランプ
点滅



又は

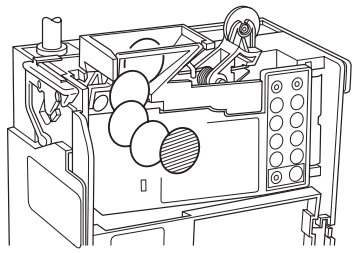
点検ランプ
点灯

同時に点検ランプも点灯している場合

返却レバーが押されたままになっている？

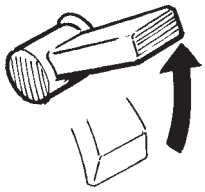
いいえ

硬貨選別部に硬貨 / メダルや異物が詰まっている？

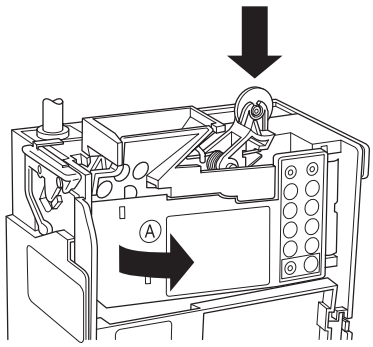


はい

処置する



ゲートレバーを開き、詰まっている硬貨 / メダルや異物を取り除きます



はい

いいえ

電源を OFF/ON する

はい

●硬貨選別部をコインメックより取り外し、フロントカバーを外し詰まっている硬貨 / メダルや異物を取り除きます。
取り除いた後は、硬貨選別部を清掃してください。
（25 ページを参照してください）

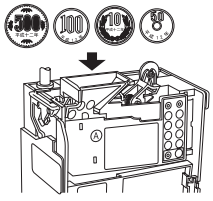
いいえ
硬貨 / メダルや異物が無い

モニターランプ
両方点灯

いいえ

はい

硬貨 / メダルを投入し、正常に受け付けるか？



いいえ

はい

トラブルは解消されました

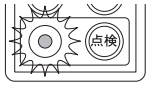
サービスマンを呼ぶ

④

コインメックランプ
点滅

又は

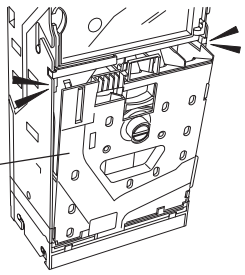
点検ランプ
点灯



同時に点検ランプも点灯している場合

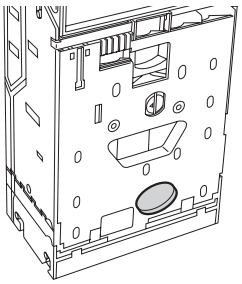
カセットチューブがきちんとセットされていない？

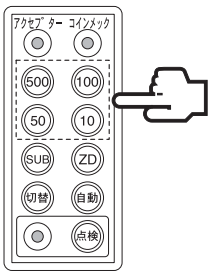
カセットチューブに浮きがないか確認する



いいえ

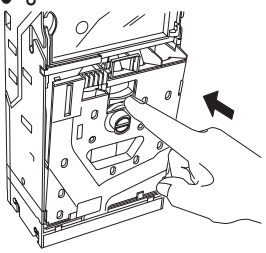
カセットチューブの払出部に硬貨が詰まっている？
↓
インベントリースイッチを押して、払出部を待機状態に戻す。
（リトライ機能）



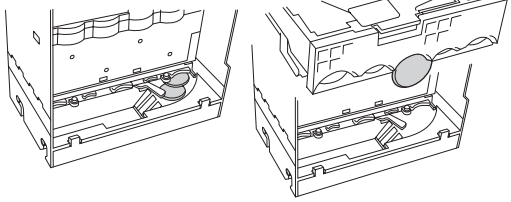


はい

“パチン”と音がするまで確実に押し込んでください。



カセットチューブの払出部に硬貨が詰まっている？
↓
硬貨を取り除いたら払出部を清掃してください
（26ページ参照）

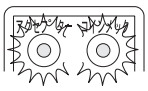


はい

いいえ

硬貨や異物が無い

モニターランプ
両方点灯

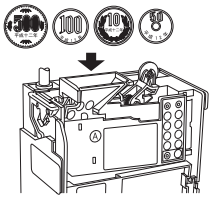


いいえ

はい

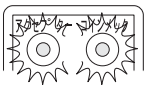
電源をOFF/ONする

硬貨を投入し、正常に受け付けるか？



はい

モニターランプ
両方点灯



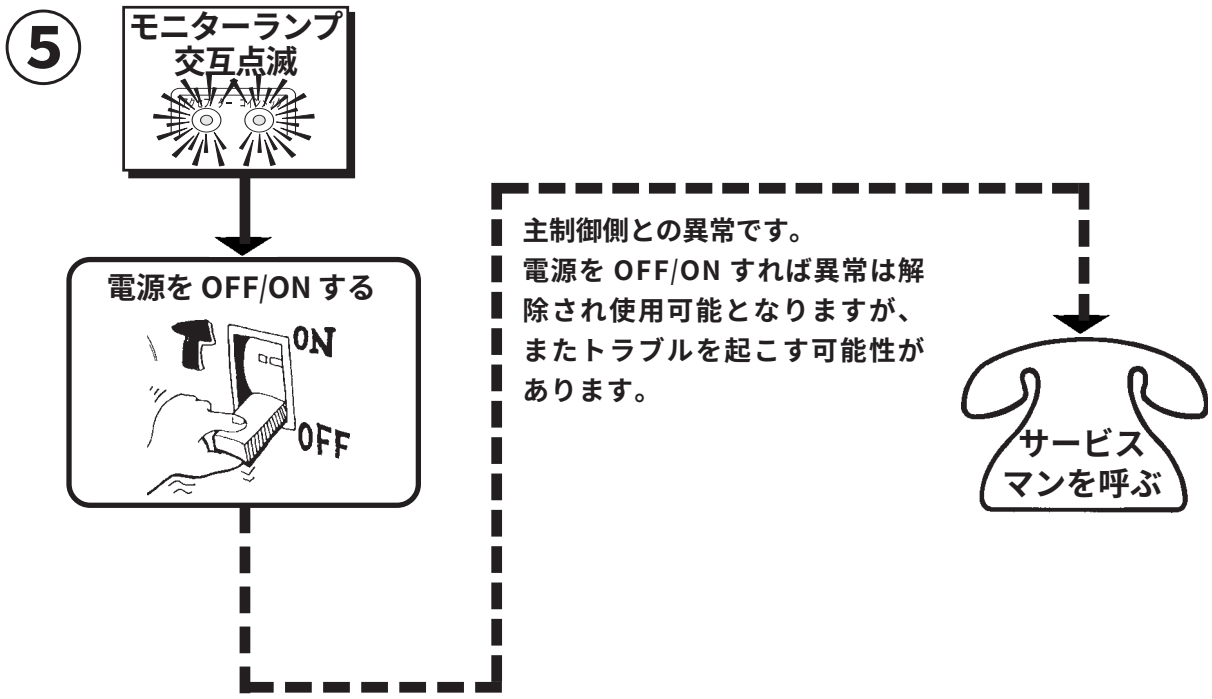
いいえ

はい

いいえ

トラブルは解消されました

サービスマンを呼ぶ



■トラブル防止のための注意事項

トラブル防止のため下記の事項は必ず守ってください。

●コインメック本体と硬貨選別部の機種名に表す3桁の数字(例：CGX-60A)は、必ず同一の数字になるように合わせてください。(9ページ参照)
数字が異なる場合、つり銭検知が行えないなど正常動作が行えなくなります。

●つり銭補助機を接続する場合は、必ずコインメック側に近い方にZD-160-A又はZD-160-50-Aのパルススイッチ付き(-Aタイプ)を接続してください。(9ページ参照)

●カセットチューブを脱着する際は、次の事項を尊守してください。(16ページ参照)
カセットチューブを脱着した場合は、全硬貨を最低2枚以上投入し、所定のチューブ及びエスクロシュートに保留されることを確認後、返却レバーを押して返却されることを確認してください。

●カセットチューブは下記枚数の硬貨をチューブ内に入れてからご使用ください。(16ページ参照)
・500円硬貨は1枚以上 .....硬貨の立ち防止の為。
・500円以外の硬貨は各16枚以上 .....硬貨の立ち防止、及びつり銭あり状態とする為。

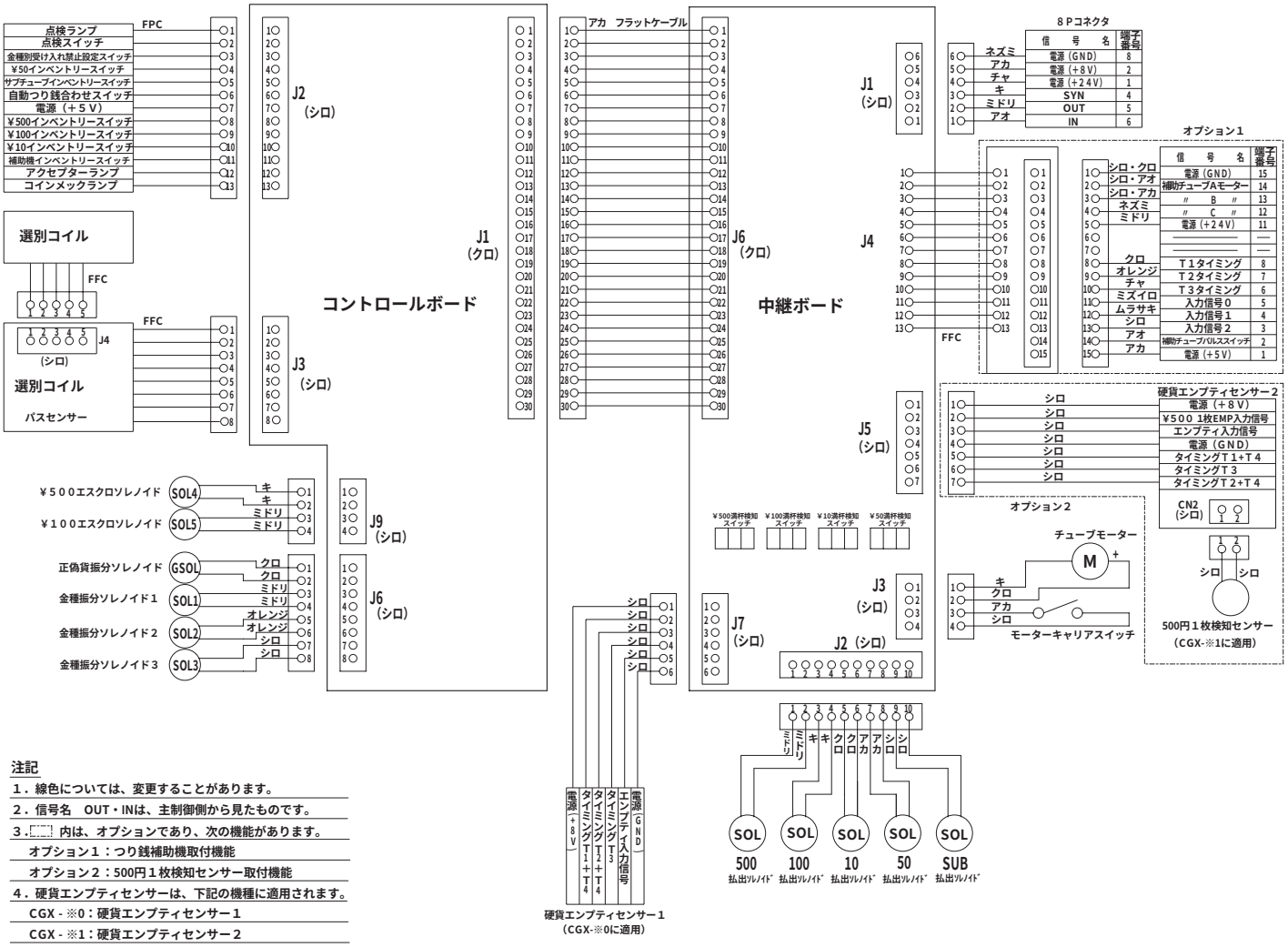
●コインメック本体と硬貨選別部は、30極コネクタにて接続されておりますが抜き差しの際は、**必ず電源を切った状態**で行うよう注意してください。また、コネクタの浮きが無きよう、根元までしっかりと押し込んでください。

10 接続端子の信号条件と配線図

●８Ｐコネクタ

端子番号	信　号　名	極性	入力／出力	内　容
1	電源（＋24V）	——	入力	電源
2	電源（＋８Ｖ）	——	入力	電源
3	——	——	——	————
4	SYN	**L**	入力	コマンド同期用信号
5	OUT*	**L**	入力	受信データ入力
6	IN*	**L**	出力	送信データ出力
7	——	——	——	————
8	電源（GND)	——	入力	電源

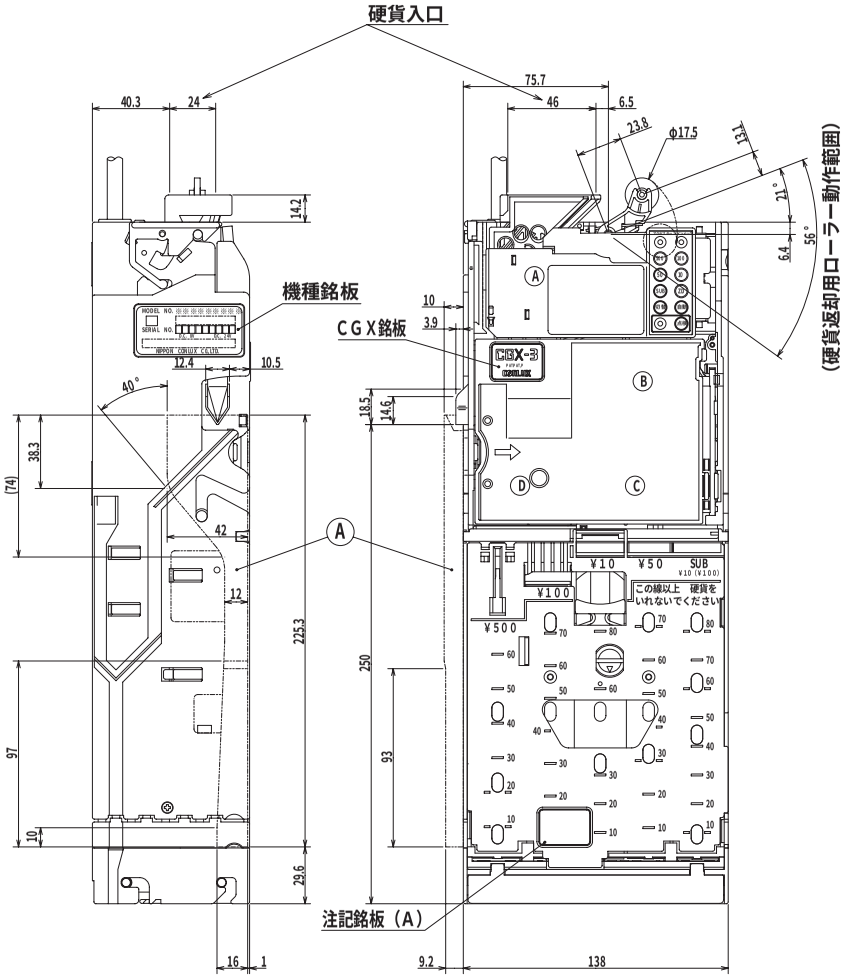
＊OUT､INは主制御側から見た信号名となっております。

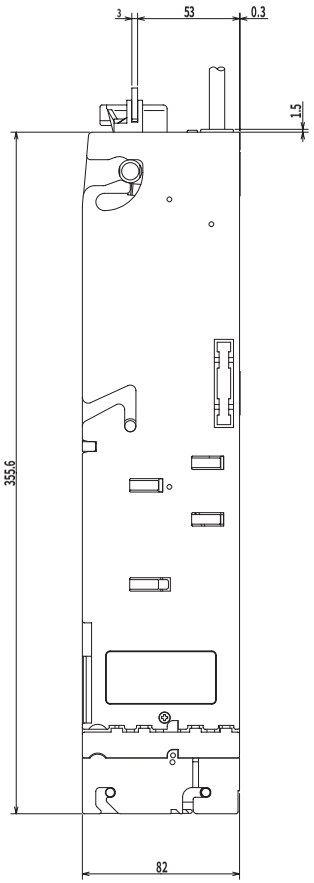


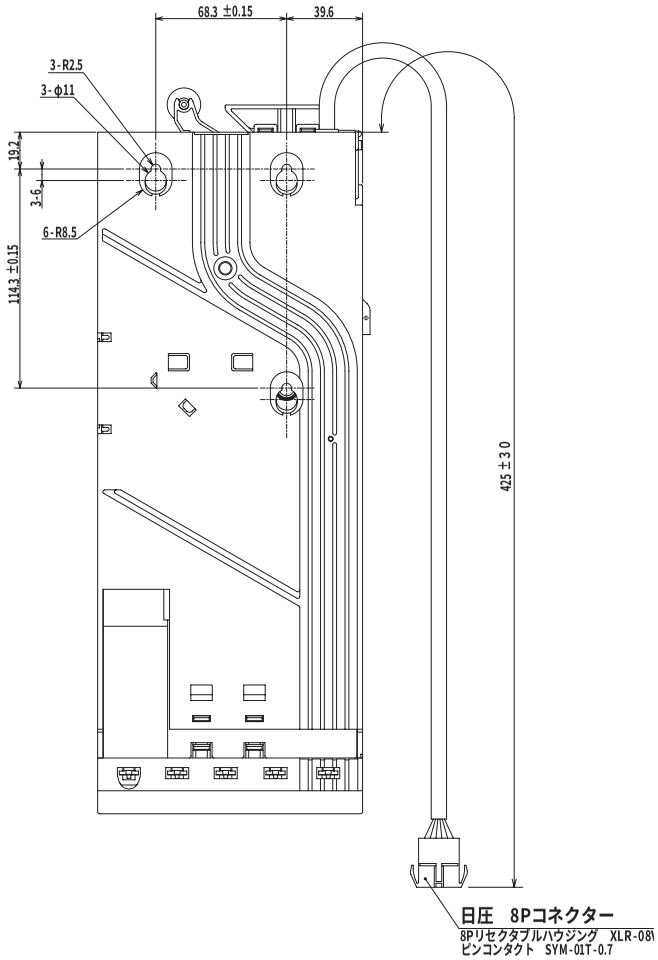
注記

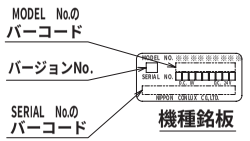
1．線色については、変更することがあります。
2．信号名　OUT・INは、主制御側から見たものです。
3．[ ] 内は、オプションであり、次の機能があります。
　オプション１：つり銭補助機取付機能
　オプション２：500円１枚検知センサー取付機能
4．硬貨エンプティセンサーは、下記の機種に適用されます。
　CGX - ※0：硬貨エンプティセンサー１
　CGX - ※1：硬貨エンプティセンサー２

11 外形寸法図

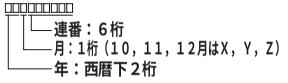


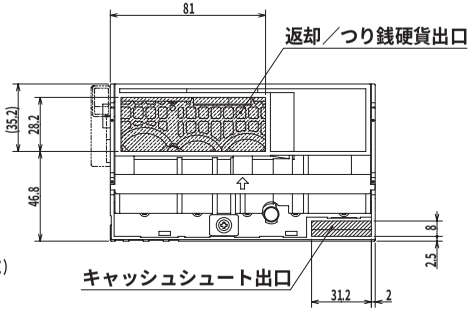






SERIAL NO. の読み方





CGX銘板

CGX銘板	CGX-3	CGX-4	CGX-5	CGX-6	CGX-7
適用機種	CGX-30シリーズ	CGX-40シリーズ CGX-41シリーズ	CGX-50シリーズ CGX-51シリーズ	CGX-60シリーズ	CGX-70シリーズ

注記
1. 指示なき寸法公差は，±1mm とする。
2. スラグプロテクター（A部）を取付けた時は，機種名の末尾に R をつける。

12 その他の機能について

12-1 金種別受け入れ禁止設定機能

本機能はコインメック側が単独で、任意の金種を受け入れ禁止に設定する機能です。
設定方法を下記に説明してありますので、間違えのないように設定してください。 この機能は設定をあやまるとトラブルの原因となりますので、十分に留意して行ってください。 また、**硬貨選別の精度アップ２と併用する場合は、当機能を必ず先に設定した後に精度アップ２を行ってください。尚、途中で当機能を設定する場合も、先に設定してある精度アップ２も当機能の設定後に、再度設定し直してください。**

● **設定時の条件**

①受け入れ禁止の操作が可能な状態のとき

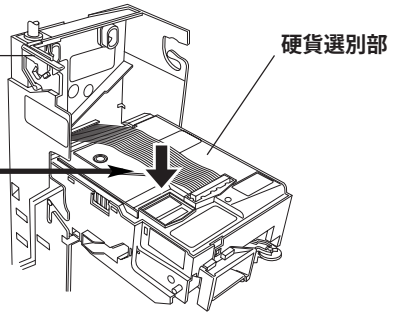
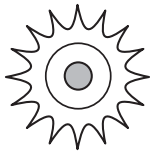
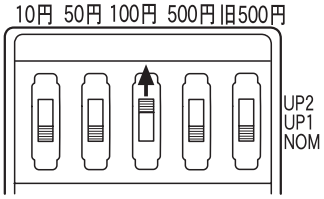
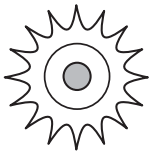
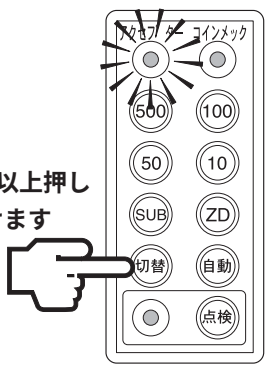
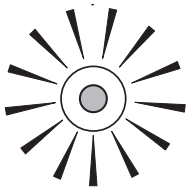
入金が可能な待機状態であり、入金時でないこと。

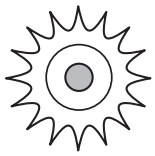
②受け入れ禁止を設定できる金種

10円、50円、100円、新旧500円について金種別に設定ができます。
旧500円硬貨の受入禁止設定は、８連スイッチの６番をON側に設定することにより、受け入れを禁止します。

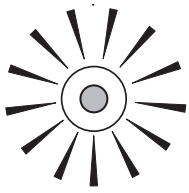
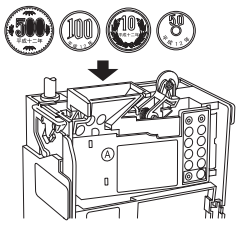
12-1-1 受け入れ禁止の設定のしかた（10円、50円、100円、新500円）

【注意】受け入れ禁止を行う場合、必ず８連スイッチの６番をOFF側（ON側の場合は一度OFF側に戻して置き、設定後に戻してください）にしてください。 ON側のまま行うと回収機能設定モード（37ページ参照）となります。

操作手順	操　作　内　容	アクセプターランプ（赤）
①	アクセプターラッチを押し上げ、硬貨選別部を手前に倒してください。  **【重要】** **３０Ｐハーネスは接続したまま、この状態で操作してください。**	**点灯のまま** 
②	受け入れ禁止にする金種に対応した硬貨選別精度切り替え用３ポジションスライドスイッチをUP2側に設定してください。  （例）100円を設定するとき	**点灯のまま** 
③	①硬貨選別部を再び本体にセットした後、インベントリーパネルの“切替”表示スイッチを5秒以上押し続けてください。 ②５秒後、アクセプターランプ（赤）が高速点滅を行い、硬貨選別精度切り替え用３ポジションスライドスイッチがUP2側に設定されている金種を受け入れ禁止にしたことを知らせます。 （設定表示モード） **5秒以上押し続けます**  	**5秒後高速点滅** 

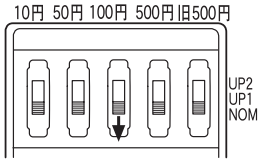
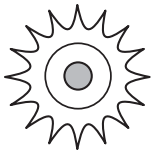
操作手順	操　　作　　内　　容	アクセプターランプ(赤)
④	返却レバーを操作することにより、設定表示モード（高速点滅状態）から離脱し、待機状態に戻ります。 返却レバーを操作する ●上記の操作以外に、設定表示モードから離脱する条件 ①設定表示モードに入ってから1分間何も操作されなかった場合 ②入金が有った場合 ③異常が発生した場合 ④主制御側からの指令により、待機状態（CREM ON）から受け入れ禁止状態（CREM OFF）に変化した場合 **【注意】** **旧500円受け入れ禁止設定（８連スイッチの６番 ON）となっている場合は一度解除（６番 OFF）し、その他金種の受け入れ禁止設定を行った後に再度、旧500円硬貨の受け入れ禁止設定を行ってください。** **（６番が‘ ON ’状態では、旧500円の回収機能設定となります。37ページ参照）**	点灯状態に戻る 

12-1-2 受け入れ禁止設定金種の有無の確認のしかた

操作手順	操　　作　　内　　容	アクセプターランプ(赤)
①	①電源スイッチをOFF/ONすると、何れかの金種が受け入れ禁止に設定されている場合、アクセプターランプ(赤)が２秒間高速点滅を行い設定されていることを知らせます。 尚、該当金種を知りたい場合は下記の方法で行ってください。	2秒間高速点滅 
	①硬貨投入口より各硬貨を投入すると、受け入れ禁止に設定されている金種が投入された場合、アクセプターランプ(赤)が一瞬(0.25秒)消灯します。 	一瞬消灯

【注意】受け入れ禁止設定後は、4　金種の硬貨を投入し、該当硬貨のみ受け入れないことと、その時アクセプターランプ（赤）が一瞬消灯することを確認してください。

12-1-3 受け入れ禁止設定の解除のしかた

操作手順	操　　作　　内　　容	アクセプターランプ(赤)
①	①アクセプターラッチを押し上げ、硬貨選別部を手前に倒してください。 ②・旧500円は、８連スイッチの６番をOFF側に設定します。 ・10円,50円,100円,新500円は、受け入れ禁止に設定されている金種の硬貨選別精度切り替え用３ポジションスライドスイッチをＵＰ２以外の位置にしてください。 該当金種はこの時点で設定解除されます。 金種ごとに解除が可能です。  （例）　100円を解除するとき ③硬貨選別部を再び本体にセットしてください。	点灯のまま 

【注意】受け入れ禁止設定の解除後は、該当硬貨を投入し、正常に受け入れることを確認してください。

12-2 旧500円硬貨回収機能

本機能は投入された旧500円硬貨をチューブへは導入せずに(つり銭として利用しない)、金庫に回収する機能です。

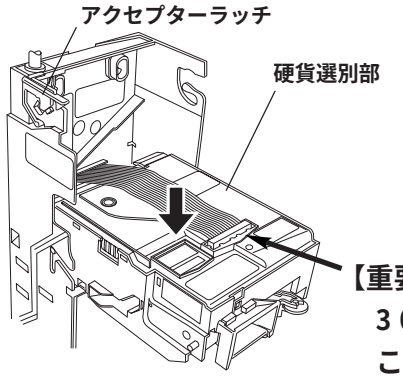
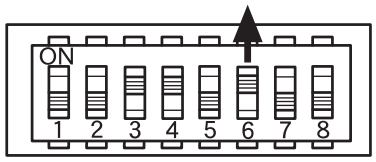
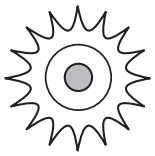
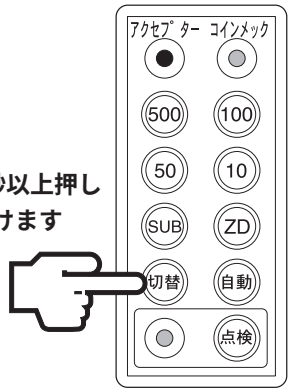
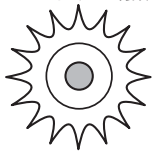
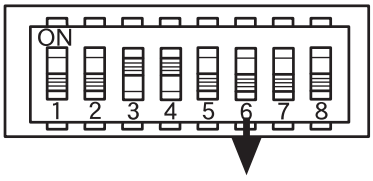
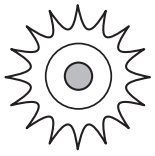
本機能が設定されますと、旧500円硬貨の入金は100円、500円(新旧)のつり銭にて代替が可能な場合のみ可能になります。(500円エスクロ設定になっている場合は、代替に関係なく旧500円硬貨の入金は可能です。)

● 設定時の条件

①回収設定の操作が可能な状態のとき

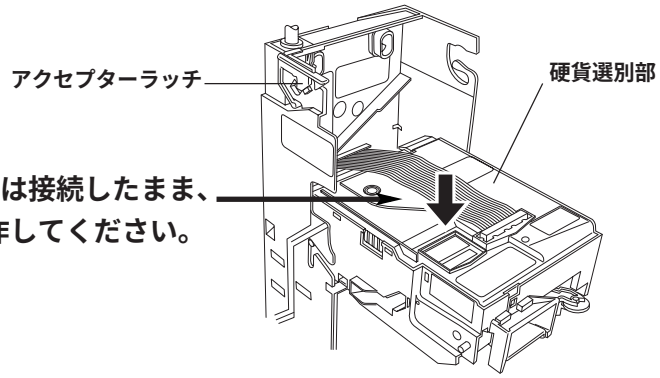
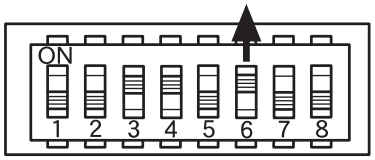
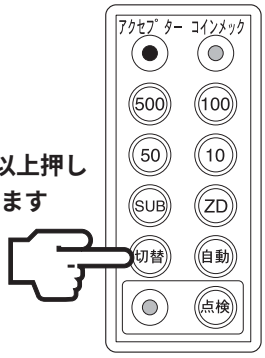
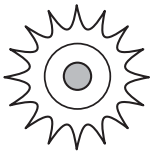
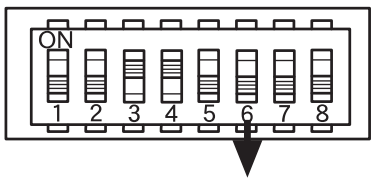
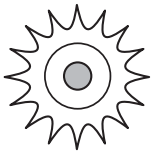
入金が可能な待機状態であり、入金時でないこと。

12-2-1 旧500円硬貨回収機能の設定のしかた

操作手順	操　　作　　内　　容	アクセプターランプ(赤)
①	①アクセプターラッチを押し上げ、硬貨選別部を手前に倒してください。 ②硬貨選別部裏側の18連スイッチ6番をON側に設定してください。   **【重要】** **30Pハーネスは接続したまま、この状態で操作してください。**	**点灯のまま** 
②	①硬貨選別部を再び本体にセットした後、インベントリーパネルの“切替”表示スイッチを5秒以上押し続けてください。 ②5秒後、アクセプターランプ(赤)が消灯し、回収機機能が設定されたことを知らせます。 ③“切替”表示スイッチをはなすと、再び点灯します。 **5秒以上押し続けます**  	**5秒後消灯** **“切替’表示スイッチをはなすと点灯** 
③	8連スイッチの6番を“OFF”側に戻してください。 “ON”側の状態では、旧500円硬貨は受け入れ禁止のままとなり、旧500円硬貨の回収が行えなくなります。  **【注意】** **回収機能の設定と10円、50円、100円、新500円の各硬貨受け入れ禁止設定は同時には行えません。 3ポジションスライドスイッチをUP2側にし、“切替”表示スイッチを押した場合、回収機能設定が優先されます。**	**点灯状態** 

【注意】旧500円硬貨回収機能設定後は、旧500円硬貨を投入し、金庫へ回収されることを確認してください。
但し、500円エスクロ設定がされている場合は、販売動作終了後に金庫へ回収されます。

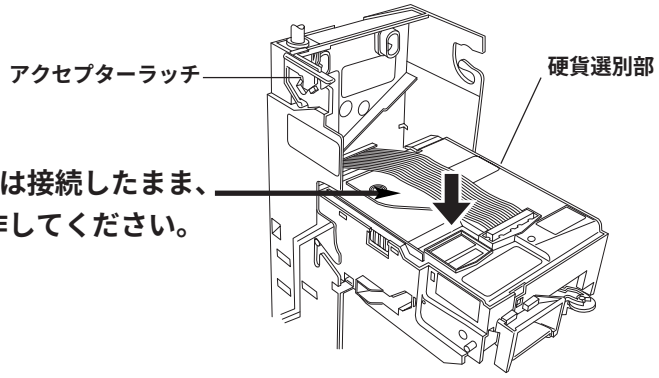
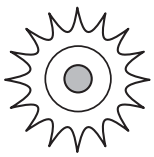
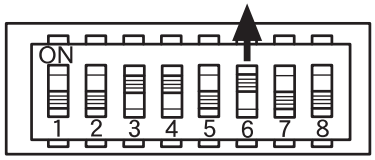
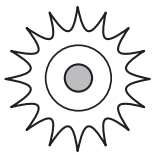
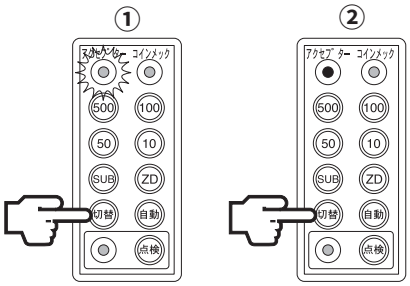
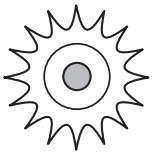
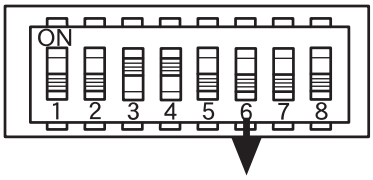
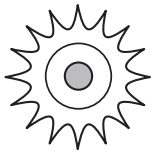
12-2-2 旧500円硬貨回収機能の解除のしかた

操作手順	操　　作　　内　　容	アクセプターランプ（赤）
①	アクセプターラッチを押し上げ、硬貨選別部を手前に倒してください。  **【重要】** **３０Ｐ ハーネスは接続したまま、** **この状態で操作してください。**	**点灯のまま**
②	硬貨選別部の裏側にあります８連スイッチ６番をON側に設定してください。  	**点灯のまま**
③	①硬貨選別部を再び本体にセットした後、インベントリーパネルの“ 切替 ”表示スイッチを押すとアクセプターランプ（赤）が消灯し、そのまま5秒以上押し続けてください。 ②５秒後、アクセプターランプ（赤）が点灯し、回収機能が解除されたことを知らせます。 **5秒後、点灯します** **5秒以上押し続けます**  	**“ 切替 ’表示スイッチを押すと消灯** **5秒後点灯** 
④	８連スイッチの６番を“ OFF ”側に戻してください。 “ ON ”側の状態では、旧500円硬貨は受け入れ禁止のままとなります。  	**点灯状態** 

【注意】

回収機能の解除と10円、50円、100円、新500円の各硬貨受け入れ禁止設定は同時には行えません。 ３ポジションスライドスイッチをUP2側にし、“ 切替 ’表示スイッチを押した場合、回収機能解除が優先されます。

12-2-3 旧500円硬貨回収機能の設定状況確認のしかた

操作手順	操　　作　　内　　容	アクセプターランプ（赤）
①	アクセプターラッチを押し上げ、硬貨選別部を手前に倒してください。  **【重要】** **３０Ｐ ハーネスは接続したまま、** **この状態で操作してください。**	**点灯のまま** 
②	硬貨選別部の裏側にあります８連スイッチ６番をON側に設定してください。  	**点灯のまま** 
③	●硬貨選別部を再び本体にセットした後、インベントリーパネルの“ 切替 ”表示スイッチを押します。 このときのアクセプターランプ（赤）の状態によって、回収機能の設定状態が確認できます。  ①点灯のままのとき： 回収機能に設定されていません ②消灯したとき：　　回収機能に設定されています **【注意】** **確認は５秒未満で行ってください。 ５秒以上‘ 切替 ’表示スイッチを押していると、回収機能の設定に切り替わってしまいます。**	**“ 切替 ’表示スイッチを押した時** **①点灯状態を維持：非回収設定**  **②消灯：回収設定**
④	８連スイッチの６番を“ OFF ”側に戻してください。 “ ON ”側の状態では、旧500円硬貨は受け入れ禁止のままとなり、旧500円硬貨の回収機能設定している場合は、回収が行えなくなります。  	**点灯状態** 

13 メダル使用時の注意事項について

１．メダルの運用について（メダルコマンド対応機・既存自動販売機共通）

インドアロケーションでメダルコマンド対応自動販売機 モード１の使用での運用をお勧めいたします。

「トークン（代用コイン＝メダル）においては、一般市場に出回っている外形材質等がメダル製造メーカー様の90%以上が定番メダルとなっています。」

上記定番のメダルを使用した場合は、類似メダルを受け入れる場合があります。

また、貴社でオリジナルメダルの作成にあたっては、定番以外のサイズをご採用になりますようお願いいたします。

２．既存自動販売機での運用について

既存自動販売機の運用については、コインメックが金額データで自動販売機主制御と通信を行い、コインメック単独で決済処理を行いますので、メダル専用機としての使用、若しくは自動販売機利用者への告知も併せて必要になる事も想定されます。

メダル対応自動販売機と比べ下記の内容が制限されますのでご理解の上、運用をお願いいたします。

①メダルの価格を150円に設定した場合、120円商品の購入時は30円のつり銭を払い出さない仕様となっています。

自動販売機へのデータは100円×１、50円×１が送信され売上処理されます。

②メダルを先に投入された場合、硬貨の受け入れは拒否しますが、紙幣識別機が搭載された場合紙幣を受け入れ、商品販売後はつり銭の払い出しを行いません。

③自動販売機側での自動つり銭合わせ及び簡易つり銭合わせとメダル対応の併用はつり銭枚数に誤差が生じますのでご留意願います。

３．類似メダル受け入れに関する

類似メダルの受け入れ及び上記注意事項については、**保証対象外**とさせていただきます。

４．８連スイッチ７番の使用について

７番のスイッチはメダルコマンド対応機（主制御）のとき使用するスイッチです。

既存の自動販売機で使用するとき、７番のスイッチはOFFで使用してください。

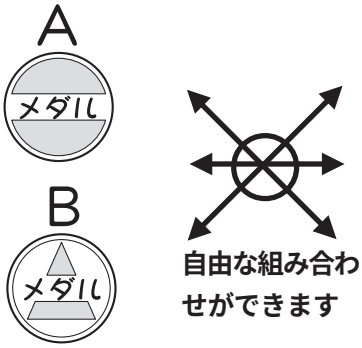
※既存の自動販売機で７番スイッチがON状態で使用するとメダルを受け付けなくなる場合があります。

14 メダル選別自己調整機能の使いかた

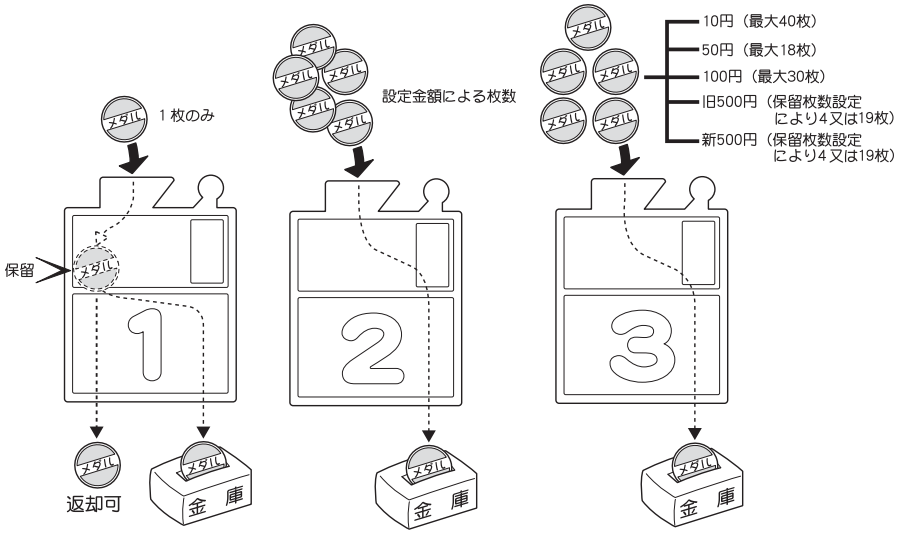
概要

メダル選別自己調整機能とは、コインメック側の所定の操作のみで、メダル選別のための調整を行い、特定メダルを受け入れ可能にする機能です。
メダルは、２種類まで調整し受け入れ可能にすることが出来ます。また、メダル受け入れ形態は３通りのモードがあります。２種類のメダルは、３モードを自由な組み合わせで設定することが出来ます。但し、メダル専用データコマンド対応設定（８連スイッチの７番ON）の場合は、モード１調整のみとなります。また、メダルと正貨は同時に投入することは出来ません。メダル投入時は正貨を受け付けず、正貨投入時はメダルを受け付けません。

●メダルは２種類まで調整使用できます。

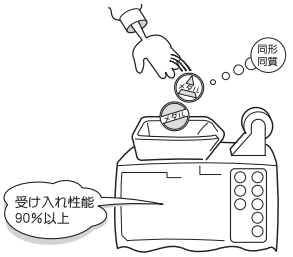


●メダルの受け入れ形態は３モード設定できます。



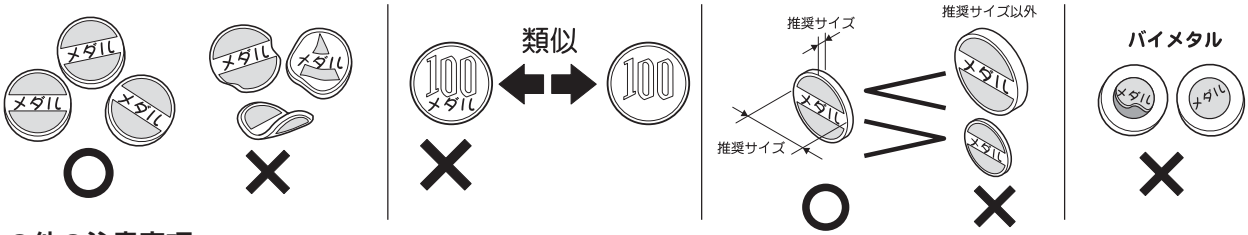
●メダル選別性能は？

メダルの受け入れ性能は、90%以上となるように設定しています。また、模様が異なるメダルでも同形・同質であれば受け入れます。
但し、調整時の条件により受け入れが低下または満足しない場合があります。再度調整を行うなどユーザー各位にて対応をお願いいたします。



●使用メダルは？

①調整用メダルは、変形の無い、同質なメダルを使用してください。
②正貨に類似しているメダルは使用出来ません。また、２種類のメダル設定を行う場合、互いのメダルが類似していますと、２種類同時には設定出来ません。
③メダルのサイズは、外径：20.0～26.5mm　厚み：1.5～1.8mmを推奨します。
　但し、モード１で使用するメダルは、外径：22.6～26.5mm　厚み：1.7～1.8mmを推奨します。
④バイメタルのメダルは、使用しないでください。



●その他の注意事項

①硬貨選別機の硬貨通路部を清掃した後、調整を行ってください。
②メダル調整完了及びメダル設定解除後に電源を切る場合は、点検ランプ（緑）の点滅停止を確認してお切りください。
③モード２，モード３で販売価格以上に投入されたメダルは返却されません。
④メダル調整完了及びメダル設定解除後は、必ず選別切り替え用３ポジションスライドスイッチを操作前の元の状態に戻してください。

14－1　機能説明

1）モード１の機能

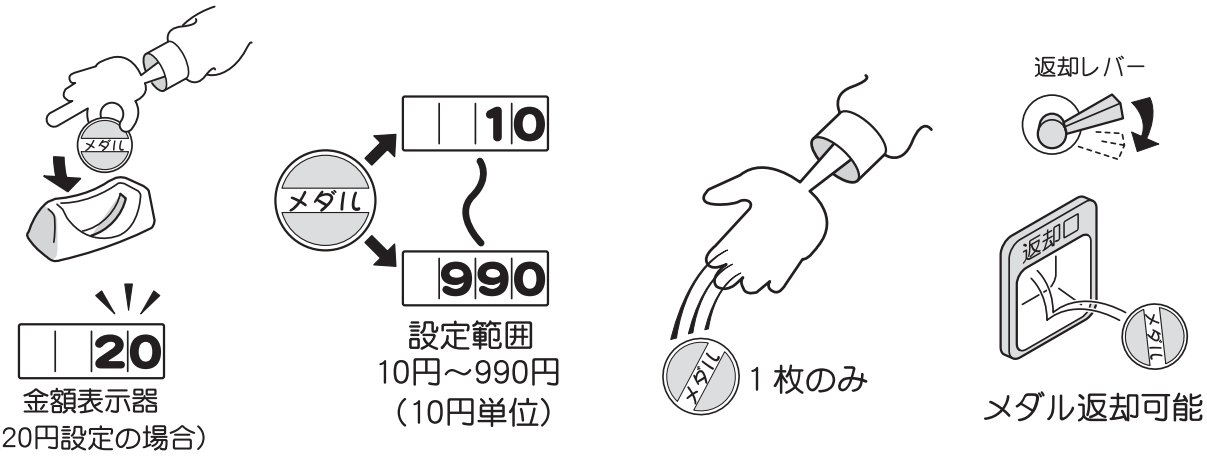
メダルを指定金額に割り当て設定する機能です。設定方法の詳細は、「14-2 操作方法」を参照してください。

●投入メダルは、指定金額分にカウントされます。

●金額は、10円～990円までの10円単位で設定可能です。
（８連スイッチの７番ONの場合、金額設定は自販機側で行います。）

●メダルは、１枚のみ受け入れます。

●投入メダルは、500円エスクロレバーでエスクロされ、返却することが出来ます。



※メダル専用データコマンド設定の場合は、動作は主制御からの指令に依り異なります。

※このモードでの、メダル返却は出来ますが、つり銭硬貨の払い出しは出来ません。主制御からつり銭の返金指令を受けた場合、払い出し動作は行わず、“ 払い出し終了 ” となります。

「但し、コインメックはつり銭払出し可能枚数を更新せず、投入されたメダルに割り当てた金額をつり銭として払い出せない状態では、つり銭返金ができない状態となります。
したがって、メダルを返却できない場合もあります。」

2）モード２の機能

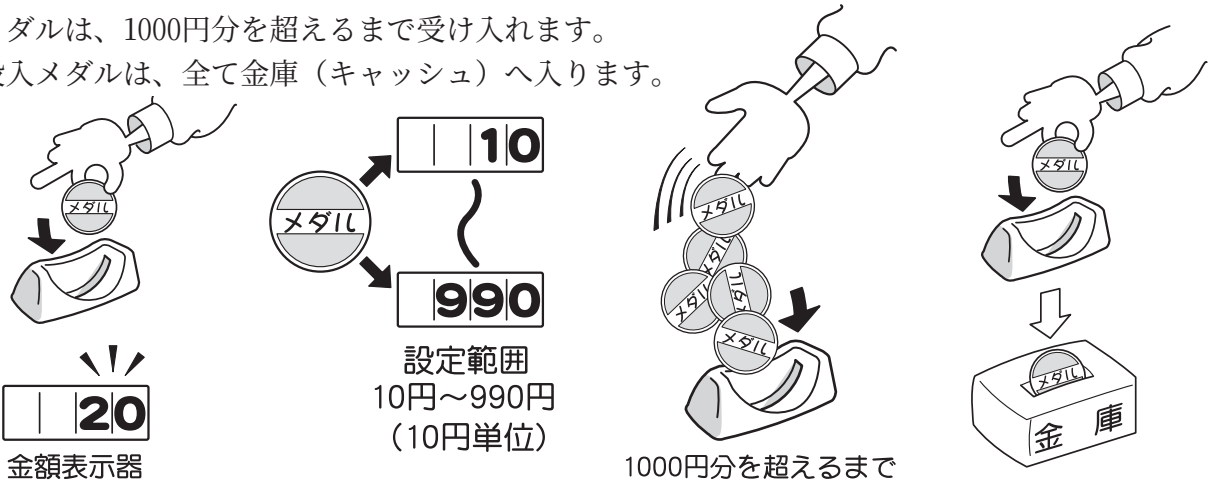
メダルを指定金額に割り当て設定する機能です。設定方法の詳細は、「14-2 操作方法」を参照してください。（８連スイッチの７番OFFの場合のみ有効です。）

●投入メダルは、指定金額分にカウントされます。

●金額は、10円～990円までの10円単位で設定可能です。

●メダルは、1000円分を超えるまで受け入れます。

●投入メダルは、全て金庫（キャッシュ）へ入ります。

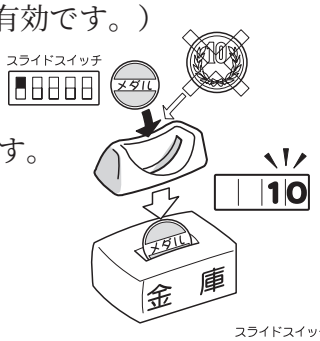


※このモードでの、メダル返却・つり銭硬貨の払い出しは出来ません。主制御からつり銭の返金指令を受けた場合、払い出し動作は行わず、“ 払い出し終了 ” となります。

3）モード３の機能

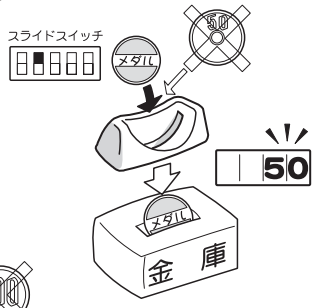
メダルを指定の金種に割り当て設定する機能です。設定方法の詳細は、「14-2 操作方法」を参照してください。（８連スイッチの７番OFFの場合のみ有効です。）

a.メダルを10円に設定



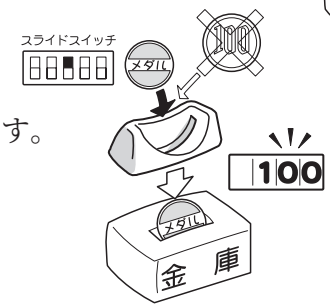
・投入メダルは、10円にカウントされます。
・投入メダルは、全て金庫（キャッシュ）へ入ります。
・10円正貨は受け入れ禁止となります。
・投入メダルは、最大40枚まで受け入れます。

b.メダルを50円に設定



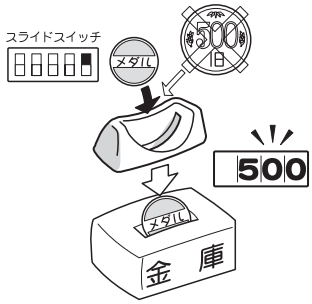
・投入メダルは、50円にカウントされます。
・投入メダルは、全て金庫（キャッシュ）へ入ります。
・50円正貨は受け入れ禁止となります。
・投入メダルは、最大18枚まで受け入れます。

c.メダルを100円に設定



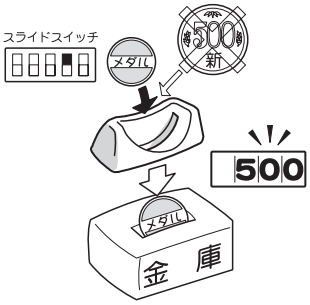
・投入メダルは、100円にカウントされます。
・投入メダルは、全て金庫（キャッシュ）へ入ります。
・100円正貨は受け入れ禁止となります。
・投入メダルは、最大30枚まで受け入れます。

d.メダルを旧500円に設定



・投入メダルは、500円にカウントされます。
・投入メダルは、全て金庫（キャッシュ）へ入ります。
・旧500円正貨は受け入れ禁止となります。
・投入メダルは、500円保留枚数設定により、４枚または19枚まで受け入れます。

e.メダルを新500円に設定



・投入メダルは、500円にカウントされます。
・投入メダルは、全て金庫（キャッシュ）へ入ります。
・新500円正貨は受け入れ禁止となります。
・投入メダルは、500円保留枚数設定により、４枚または19枚まで受け入れます。

※このモードでの、メダル返却・つり銭硬貨の払い出しは出来ません。主制御からつり銭の返金指令を受けた場合、払い出し動作は行わず、“ 払い出し終了 ” となります。

4）メダル調整解除機能

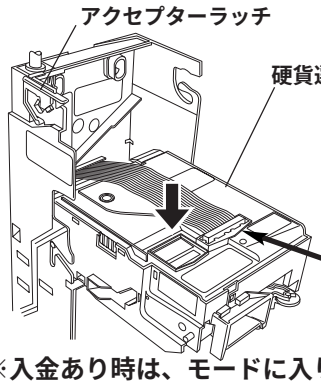
メダル設定を解除する機能です。操作方法の詳細は、「14-2 操作方法」を参照してください。
メダル設定を解除した後は、出荷時の正貨のみを受け入れる状態に戻ります。

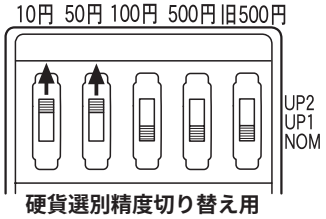
5）メダル設定状態確認機能

メダル設定状態を確認する機能です。確認方法の詳細は、「14-2 操作方法」を参照してください。
メダル設定の有無、メダル設定数（最大２種類）を確認することが出来ます。

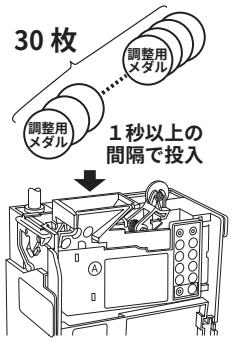
14－2　操作方法［調整時の環境（48ページ参照）］

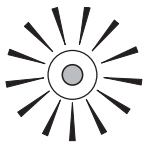
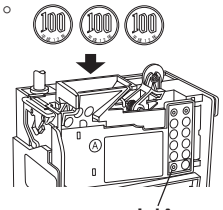
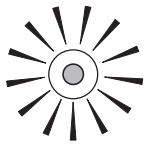
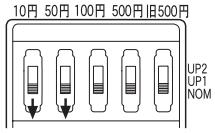
①モード１の調整のしかた（メダルコマンド対応機①②③⑤、既存自動販売機対応機①②④⑤）

<table>
<tr><th>操作手順</th><th>操　　作　　内　　容</th><th>点検ランプ（緑）</th></tr>
<tr><td>①</td><td>①アクセプターラッチを押し上げ、硬貨選別部を手前に倒してください。
②硬貨選別部裏側の10円50円の硬貨選別精度切り替え用３ポジションスライドスイッチを“ＵＰ２”に設定してください。
 

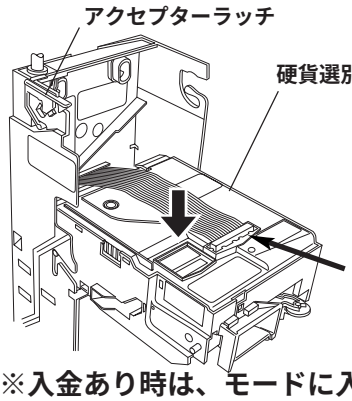
硬貨選別精度切り替え用
３ポジションスライドスイッチ
【重要】
３０Ｐハーネスは接続したまま、この状態で操作してください。
※入金あり時は、モードに入りません。
※メダルコマンド対応機８連スイッチ７番ON、既存自動販売機７番OFFに設定</td><td>高速点滅

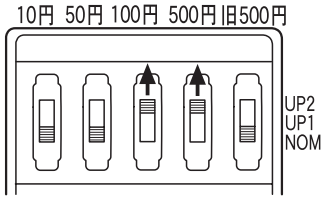
（50ms 周期点滅）</td></tr>
<tr><td>②</td><td>硬貨選別部を再び本体にセットした後、調整用のメダルを30枚１秒以上の間隔で投入します。
３０枚調整用として受け付けた場合、点検ランプは中速点滅(250ms 周期点滅)となります。
注）①投入メダルは、返却口へ戻ります。
②３０枚投入しても、投入状態により点検ランプの点滅速度が変わらない場合がありますので、点検ランプの点滅速度が変わるまで、投入を続けてください。相当数のメダルを投入しても完了しない場合は、一度終了してからやり直してください。
 
</td><td>高速点滅

⇩
中速点滅
  </td></tr>
<tr><td>③</td><td>８連スイッチの７番ON（メダル専用ＤＣ対応）で30枚調整用として受け付けた場合、点検ランプは消灯し、調整完了となります。
メダルコマンド対応機利用の場合は、価格及びコラム割り当て等は自販機側のコントロールボックス（主制御）にて行ってください。</td><td>（250ms 周期点滅）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">④</td><td>割り当て設定する金額分の正貨を硬貨投入口から投入します。
例）メダルを300円割り当て設定する場合
100円硬貨３枚を投入し、金額表示器に「300」との表示を確認します。
注）①投入硬貨に、組み合わせの制限はありません。
②０円の場合、10円設定となります。
③990円以上の場合、990円設定となります。
 
</td><td>中速点滅
  </td></tr>
<tr><td>返却レバーを押します。点検ランプは消灯し、調整完了です。
注）調整開始前に、点検ランプが点灯であった場合は、点灯となります。
 </td><td rowspan="2">消灯
 </td></tr>
<tr><td>⑤</td><td>硬貨選別精度切替用３ポジションスライドスイッチを元に戻します。
２種類のメダルを使用時は、もう一度操作手順を①から設定してください。
※調整モードの終了
調整途中でも、次の何れかの条件・方法によりモードを終了します。
①５分間メダルの投入が無かった場合。
②返却レバーを押した場合。
③３ポジションスライドスイッチを戻した場合。
 

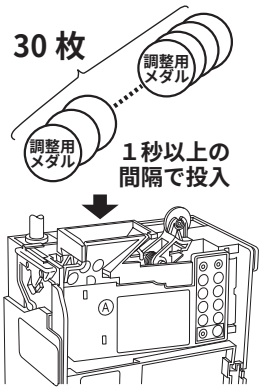
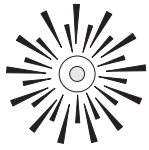
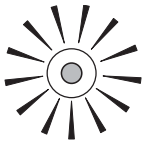
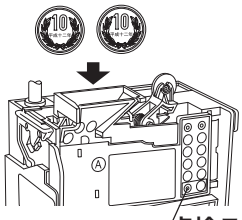
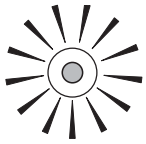
元に戻さないと、１０円硬貨と５０円硬貨は精度UP2の状態になります。</td></tr>
</table>

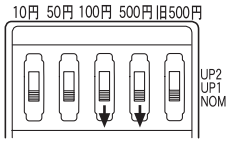
②モード２の調整のしかた（既存自動販売機のみ）

<table>
<tr><th>操作手順</th><th>操　　作　　内　　容</th><th>点検ランプ（緑）</th></tr>
<tr><td>①</td><td>①アクセプターラッチを押し上げ、硬貨選別部を手前に倒してください。
②硬貨選別部裏側の100円500円の硬貨選別精度切り替え用３ポジションスライドスイッチを“ＵＰ２”に設定してください。
 

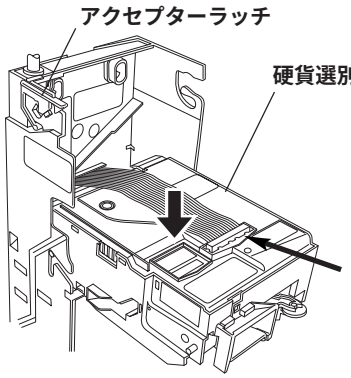
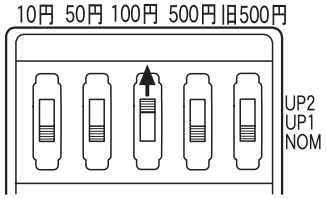
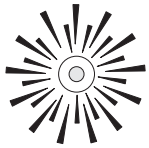
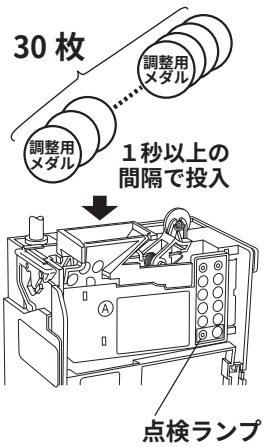
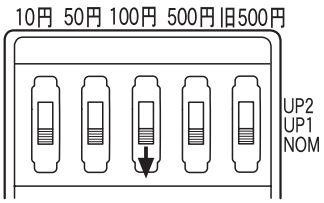
硬貨選別精度切り替え用
３ポジションスライドスイッチ
【重要】
30Pハーネスは接続したまま、この状態で操作してください。
※入金あり時は、モードに入りません。</td><td>高速点滅

（50ms 周期点滅）</td></tr>
<tr><td>②</td><td>硬貨選別部を再び本体にセットした後、調整用のメダルを30枚１秒以上の間隔で投入します。
３０枚調整用として受け付けた場合、点検ランプは中速点滅（250ms 周期点滅）となります。
注）①投入メダルは、返却口へ戻ります。
②30枚投入しても、投入状態により点検ランプの点滅速度が変わらない場合がありますので、点検ランプの点滅速度が変わるまで、投入を続けてください。
相当数のメダルを投入しても完了しない場合は、一度終了してからやり直してください。
 
</td><td>高速点滅
 
⇩
中速点滅
 
（250ms 周期点滅）</td></tr>
<tr><td>③</td><td>割り当て設定する金額分の正貨を硬貨投入口から投入します。
例）メダルを20円割り当て設定する場合
１０円硬貨２枚を投入し、金額表示器に「２０」との表示を確認します。
注）①投入硬貨に、組み合わせの制限はありません。
②０円の場合、10円設定となります。
③990円以上の場合、990円設定となります。
 
</td><td>中速点滅
  </td></tr>
<tr><td>④</td><td>返却レバーを押します。点検ランプは消灯し、調整完了です。
注）調整開始前に、点検ランプが点灯であった場合は、点灯となります。

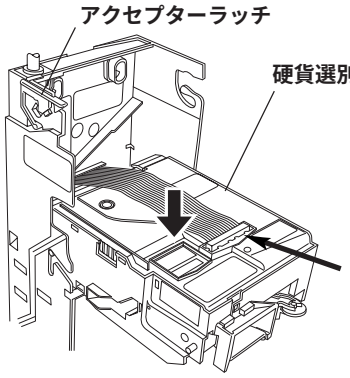
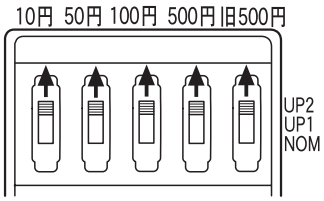
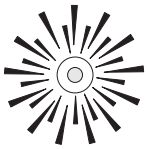
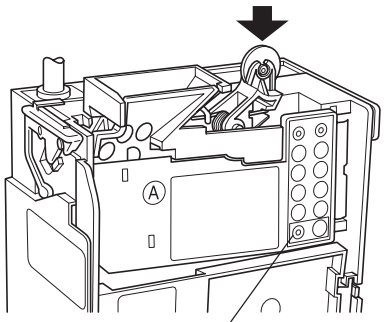
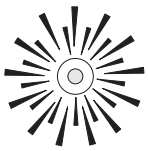
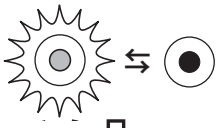
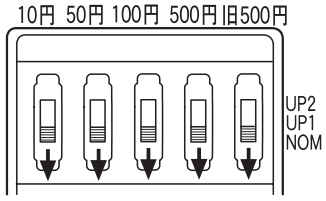
硬貨選別精度切替用３ポジションスライドスイッチを元に戻します。
 

元に戻さないと、１００円硬貨と500円硬貨は精度UP2の状態になります。
※調整モードの終了
調整途中でも、次の何れかの条件・方法によりモードを終了します。
①５分間メダルの投入が無かった場合。
②正貨または調整済みのメダルが投入された場合。
（但し、操作③中の正貨投入は終了しません。）
③返却レバーを押した場合。
④３ポジションスライドスイッチを戻した場合。</td><td>消灯
 </td></tr>
</table>

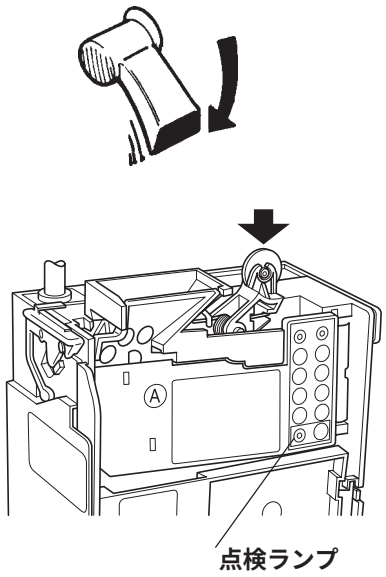
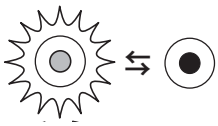
③モード３の調整のしかた（既存自動販売機のみ）

操作手順	操　　作　　内　　容	点検ランプ（緑）
①	①アクセプターラッチを押し上げ、硬貨選別部を手前に倒してください。 ②硬貨選別部裏側の設定する金種の硬貨選別精度切り替え用３ポジションスライドスイッチを“ＵＰ２”に設定してください。 例）メダルを100円割り当て設定する場合   硬貨選別精度切り替え用 ３ポジションスライドスイッチ **【重要】** **30Pハーネスは接続したまま、この状態で操作してください。** **※入金あり時は、モードに入りません。**	**高速点滅** 
②	硬貨選別部を再び本体にセットした後、調整用のメダルを30枚１秒以上の間隔で投入します。 ３０枚調整用として受け付けた場合、点検ランプは消灯し、調整完了です。 **注）①投入メダルは、返却口へ戻ります。** **②30枚投入しても、投入状態により完了しない場合がありますので、点検ランプが消灯するまで、投入を続けてください。** **相当数のメダルを投入しても完了しない場合は、一度終了してからやり直してください。**  	**高速点滅** ⇩ **消灯**
③	硬貨選別精度切替用３ポジションスライドスイッチを元に戻します。 **注）調整開始前に、点検ランプが点灯であった場合は、点灯となります。**  **【注意】** **必ず元に戻してください。** **100円正貨は受け入れ禁止になります。** **※調整モードの終了** 調整途中でも、次の何れかの条件・方法によりモードを終了します。 ①５分間メダルの投入が無かった場合。 ②正貨または調整済みのメダルが投入された場合。 ③返却レバーを押した場合。 ④３ポジションスライドスイッチを戻した場合。	**消灯**

④メダル調整解除のしかた

操作手順	操　　作　　内　　容	点検ランプ(緑)
①	①アクセプターラッチを押し上げ、硬貨選別部を手前に倒してください。 ②硬貨選別部裏側の全ての硬貨選別精度切り替え用３ポジションスライドスイッチを“ＵＰ２”に設定してください。   硬貨選別精度切り替え用 ３ポジションスライドスイッチ **【重要】** **３０Ｐハーネスは接続したまま、この状態で操作してください。** **※入金あり時は、モードに入りません。**	高速点滅 
②	①返却レバーを、５秒以上押し続けます。 ②約５秒後、点検ランプは点滅を行います。 ③５回点滅後、点検ランプは消灯し、調整解除は完了です。 ５秒以上押し続ける  点検ランプ	高速点滅  ⇩ 点滅５回  ⇩ 消灯
③	硬貨選別精度切替用３ポジションスライドスイッチを元に戻します。 **注）調整開始前に、点検ランプが点灯であった場合は、点灯となります。**  **【注意】** **必ず元に戻してください。** **※調整モードの終了** 調整途中でも、次の何れかの条件・方法によりモードを終了します。 ①５分間メダルの投入が無かった場合。 ②正貨または調整済みのメダルが投入された場合。 ③３ポジションスライドスイッチを戻した場合。	消灯

⑤メダル設定状態確認のしかた

操作手順	操　　作　　内　　容	点検ランプ（緑）
①	返却レバーを押した時に、メダル設定状態を点検ランプで表示します。 ①メダル調整無し　　：点検ランプはそのままです。 ②１種類のメダル調整有り　：１回点滅 ③２種類のメダル調整有り　：２回点滅 	設定状況により 点滅 

※調整時の環境

メダル調整は下記条件で行うことを推奨します。

①垂直方向に対する傾き１度以内

②周囲温度　　10℃～30℃

　相対湿度　　45%～85%

　気　　圧　　860～1060hpa

③粉塵の無い場所

④通電15分以上経過後

15 メダル(トークン)専用機として硬貨を全て受入禁止に設定

必ずメダル選別機能設定後に受け入れ禁止設定をしてください。

● 設定時の条件

①受け入れ禁止の操作が可能な状態のとき

入金が可能な待機状態であり、入金時でないこと。

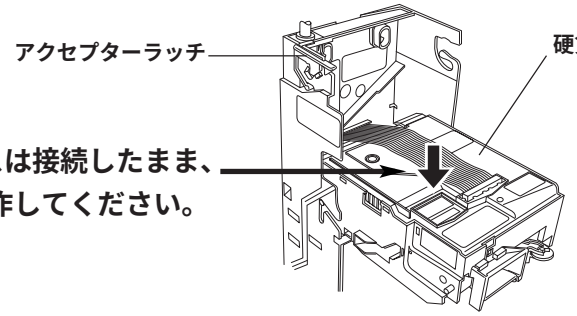
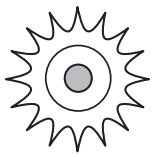
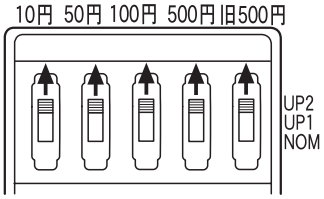
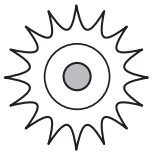
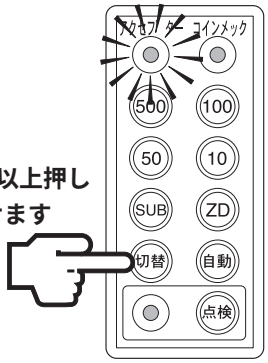
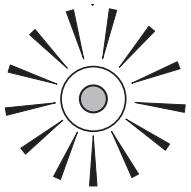
②受け入れ禁止を設定できる金種

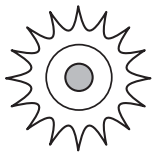
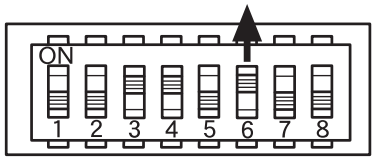
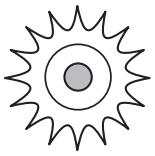
10円、50円、100円、新旧500円について金種別に設定ができます。

下記の受け入れ禁止設定の事例は、全硬貨を受入禁止にします。

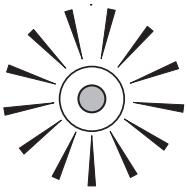
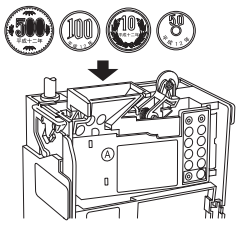
15-1 受け入れ禁止の設定のしかた(10円、50円、100円、新旧500円)

【注意】受け入れ禁止を行う場合、必ず８連スイッチの６番をOFF側(ON側の場合は一度OFF側に戻して置き、設定後に戻してください)にしてください。 ON側のまま行うと回収機能設定モード(37ページ参照)となります。

操作手順	操　作　内　容	アクセプターランプ(赤)
①	アクセプターラッチを押し上げ、硬貨選別部を手前に倒してください。  **【重要】** **３０Ｐハーネスは接続したまま、** **この状態で操作してください。**	**点灯のまま** 
②	受け入れ禁止にする全金種に対応した硬貨選別精度切り替え用３ポジションスライドスイッチをUP2側に設定してください。  	**点灯のまま** 
③	①硬貨選別部を再び本体にセットした後、インベントリーパネルの“切替”表示スイッチを5秒以上押し続けてください。 ②５秒後、アクセプターランプ（赤）が高速点滅を行い、硬貨選別精度切り替え用３ポジションスライドスイッチがUP2側に設定されている金種を受け入れ禁止にしたことを知らせます。 （設定表示モード） ③硬貨選別精度切り替え用３ポジションスライドスイッチがUP2側に設定したままにしてください。 **5秒以上押し続けます**  	**5秒後高速点滅** 

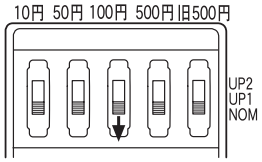
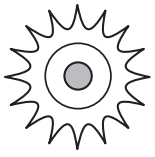
操作手順	操　　作　　内　　容	アクセプターランプ(赤)
④	返却レバーを操作することにより、設定表示モード（高速点滅状態）から離脱し、待機状態に戻ります。 返却レバーを操作する ●上記の操作以外に、設定表示モードから離脱する条件 ①設定表示モードに入ってから1分間何も操作されなかった場合 ②入金が有った場合 ③異常が発生した場合 ④主制御側からの指令により、待機状態（CREM ON）から受け入れ禁止状態（CREM OFF）に変化した場合	点灯状態に戻る 
⑤	最後に旧500円の受け入れを禁止設定します。 ８連スイッチ６番をON側に設定してください。 	点灯のまま 

15-2 受け入れ禁止設定金種の有無の確認のしかた

操作手順	操　　作　　内　　容	アクセプターランプ(赤)
①	①電源スイッチをOFF/ONすると、何れかの金種が受け入れ禁止に設定されている場合、アクセプターランプ(赤)が２秒間高速点滅を行い設定されていることを知らせます。 尚、該当金種を知りたい場合は下記の方法で行ってください。 	2秒間高速点滅 
	①硬貨投入口より各硬貨を投入すると、受け入れ禁止に設定されている金種が投入された場合、アクセプターランプ(赤)が一瞬(0.25秒)消灯します。 	一瞬消灯

【注意】受け入れ禁止設定後は、4　金種の硬貨を投入し、該当硬貨のみ受け入れないことと、その時アクセプターランプ（赤）が一瞬消灯することを確認してください。

15-3 受け入れ禁止設定の解除のしかた

操作手順	操　　作　　内　　容	アクセプターランプ(赤)
①	①アクセプターラッチを押し上げ、硬貨選別部を手前に倒してください。 ②・旧500円は、８連スイッチの６番をOFF側に設定します。 ・10円,50円,100円,新500円は、受け入れ禁止に設定されている金種の硬貨選別精度切り替え用３ポジションスライドスイッチをＵＰ２以外の位置にしてください。 該当金種はこの時点で設定解除されます。 金種ごとに解除が可能です。  （例）　100円を解除するとき ③硬貨選別部を再び本体にセットしてください。	点灯のまま 

【注意】受け入れ禁止設定の解除後は、該当硬貨を投入し、正常に受け入れることを確認してください。

お 願 い

硬貨処理装置の流出は偽造硬貨犯罪の主要な原因となります。機器の買替え時に際しましては、弊社にて硬貨処理装置を適正に処理破棄致しますのでお申し付けください。
なお、機器の転売等により弊社が関与できないケースにおいては、ユーザー各位にて破砕等の方法により硬貨選別機能を消滅させ、廃棄していただくようお願い申し上げます。

CONLUX®
株式会社日本コンラックス

CGX-6※, CGX-7※シリーズ　取扱説明書

2004年 12月 30日　第１版発行

本　　社	東京都千代田区内幸町2－2－2	富国生命ビル	〒100-0011 ☎03－3502－1811㈹
坂　戸　工　場	埼玉県坂戸市千代田5－3－8		〒350-0214 ☎049－283－1111㈹
北海道営業所	札幌市中央区北一条東1丁目4－1	サン経成ビル	〒060-0031 ☎011－232－1811
東北営業所	仙台市青葉区本町2－17－3	花泉ビル	〒980-0014 ☎022－265－3201
関東営業所	埼玉県坂戸市千代田5－3－8		〒350-0214 ☎049－283－5160
中部営業所	名古屋市千種区桜ヶ丘230番地	フタバビル	〒464-0025 ☎052－783－6061
関西営業所	大阪府吹田市江坂町1－12－40	紙谷新御堂ビル	〒564-0063 ☎06－6338－1271
中・四国営業所	高松市福岡町3－7－18	M・Tビル	〒760-0066 ☎087－821－9969
九州営業所	福岡市博多区古門戸町2－4	KSコモンドビル	〒812-0029 ☎092－283－5600